

取扱説明書

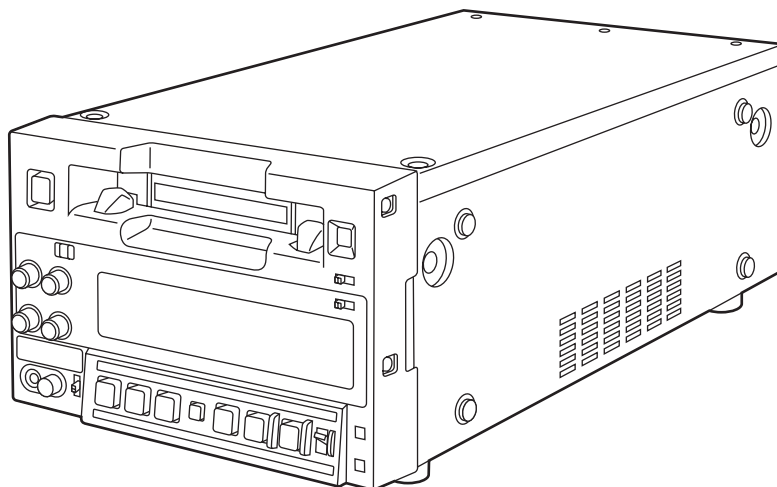
デジタルHDビデオカセットプレーヤー/レコーダー

品番 AJ-**HD1200A**

DVCPRO HD

EX

本機の記録機能は、AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載したときに機能します。



このたびは、デジタルHDビデオカセットプレーヤー/レコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（3～6ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次



安全上のご注意	3	スーパーインポーズ画面	26
概要	7	セットアップ (初期設定)	28
特長	7	オンスクリーンメニューでの設定方法	28
各部の名称と機能	9	工場出荷時の設定値への戻し方	28
フロントパネル	9	ユーザーデフォルトの設定方法	29
リアパネル	14	ユーザーデフォルトのロード方法	30
テープについて	16	メニュープロテクトの方法	30
テープの挿入	16	メニュープロテクトの解除方法	31
使用可能なテープ	16	DIAGメニューの表示方法	31
操作方法	17	セットアップメニュー	32
電源投入	17	表示されるメニューについて	32
STOPモード	17	SYSTEM	35
記録	18	BASIC	37
一時停止/記録 (つなぎ撮り)	18	OPERATION	41
再生	19	INTERFACE	44
早送り再生/巻き戻し再生	19	TAPE PROTECT	44
静止画再生	19	TIME CODE	45
リニア0.3倍速再生	20	VIDEO	47
可変速再生	20	AUDIO	49
リピート再生	21	MENU	51
キューアップ	22	DIF	52
バリエアブルフレームレートカメラのHD SDI出力 信号を記録	22	エラーメッセージ	53
タイムコード/ユーザーズビットについて	24	結露	55
タイムコード	24	EMERGENCY イジェクト	56
ユーザーズビット	24	ビデオヘッドクリーニング	56
タイムコードの設定 (メニューから)	24	お手入れについて	56
タイムコードの設定 (フロントパネルから)	24	保証とアフターサービス	57
ユーザーズビットの設定	25	定 格	58
タイムコード/ユーザーズビットの再生	25		

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。




■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

本機を改造しない!  分解禁止 火災や感電の原因になります。	不安定な場所に置かない!  禁止 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。	水場で使用しない!  水場 使用禁止 火災や感電の原因になります。
コンセントや配線機器の定格を越えて使用しない!  禁止 たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。	表示された電源電圧以外は使用しない!  禁止 火災や感電の原因になります。	付属品・オプションは、指定の製品を使用する!  本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。








警告

<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする!</p> <p> 火災や感電の原因になります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p>	<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む!</p> <p> 火災や感電の原因になります。 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>	<p>電源コードや接続コードに重いものを載せない!</p> <p> 本機の下敷きにならないよう注意してください。 コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>指定のカバー以外は外さない!</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 	<p>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる!</p> <p> プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 	<p>電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない!</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない!</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない!</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない!</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

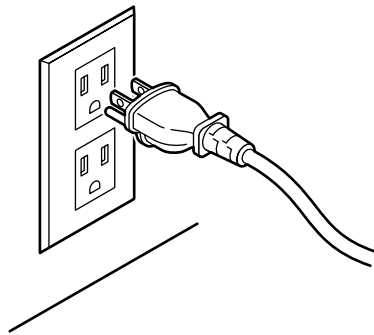
⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない!</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない!</p> <p> 感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用の AC アダプター以外は使用しない!</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>倒れたり動かないように、確実に固定する!</p> <p> 確実に固定しないと、事故につながる恐れがあります。</p>	<p>本機の上に重い物を置かない!</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <p>●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>	<p>カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する!</p> <p> けがをする恐れがあります。</p> <p>指に注意</p>	<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く!</p> <p> 火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p>本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする!</p> <p> 異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。</p> <p>●本機を電源から完全に遮断するには電気プラグを抜く必要があります。</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す!</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない!</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <p>●風通しの悪い所に押し込まないでください。</p> <p>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。</p>

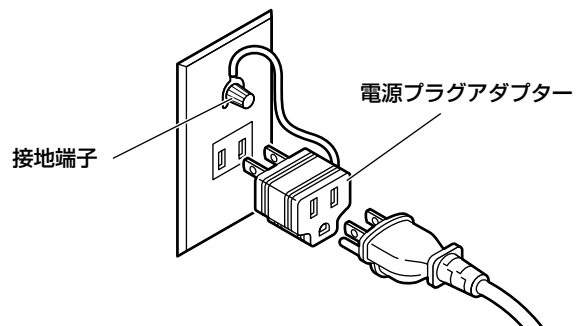
⚠ 注意

<p>運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない!</p> <p> 操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。 事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる!</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>禁止</p>	<p>コードやショルダーベルトを下にたらない!</p> <p> 触れたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く!</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する!</p> <p> けがや事故につながる恐れがあります。</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を!</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>
<p>本機に乗らない!</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>		

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

概要

本機は、1/4 インチ幅の小型カセットテープに DVCPRO フォーマットとして記録された HD (DVCPRO HD/DVCPRO HD-LP) から SD (DVCPRO50/DVCPRO50P/DVCPRO) まですべての素材に加え、民生 DV/DVCAM テープも再生することのできるマルチフォーマットプレイヤーです。

ダウンコンバーターを標準装備していますのでアナログコンポジット信号出力で、すべてのフォーマットのテープの確認が可能です。

また、オプションボードを搭載することにより HD 信号 (1080i/59.94Hz、1080i/50Hz、720p/59.94Hz) を DVCPRO HD-LP フォーマットとして記録するレコーダーとしてご使用になれます。

さらにバリアブルフレームレートカメラで収録した 720/24p over 60p ソースからは、1080/24 PsF への変換出力が得られ、シネマ用途にも応えます。

また、720/25p over 60p ソースからは、1080/25 PsF への変換出力や 576i への変換出力が得られます。

高効率のデジタル圧縮技術を採用した高画質 VTR で、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は小型・軽量設計になっておりますので、持ち運びにも負担が軽く、ラックへの設置も楽に行えます。

機器の各設定は、モニターテレビのオンスクリーンメニューを見ながら対話方式で行います。

特長

小型・軽量

本機のサイズは幅 214 mm、高さ 132 mm、奥行 428 mm、重量は 7.9 kg です。

把手を装備しているため、持ち運びに便利です。

効率的なラックへの設置

本機の幅は、19 インチの 1/2 サイズ、高さは 3U サイズです。

ラックへの設置が、従来機の 2 倍の効率で経済的です。

DVCPRO HD カセットテープを使用

使用するカセットテープは、テープ幅 1/4 インチカセットです。

<ノート>

HD 収録時*は、DVCPRO HD カセットを使用してください。

高画質

本機は、既存 DVCPRO の 4 倍の記録レート (100 Mbps) を持った 4:2:2 HD コンポーネント信号記録により、高画質を実現しています。

1080i/720p、NTSC/PAL スイッチャブル

本機は、映像信号入力 (1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz) に合わせた切り替えをセットアップメニューの設定で行うことにより、それぞれの信号を記録* / 再生することができます。

また、PAL モードにも対応しており、システムメニュー切り替えにより 1080i/50Hz や PAL の SD 素材の再生が可能です。

フレームレート変換機能

メニューで切り換えることにより、バリアブルフレームレートカメラでフレームレートが 24fps で記録されたテープを再生すると、1080/24PsF への変換出力を行うことができます。

25fps で記録されたテープを再生したときは、1080/25PsF への変換出力や 576i への変換出力を行うことができます。

<ノート>

- バリアブルフレームレートカメラで撮影したテープを使用してください。
- 撮影したテープをダビングしたテープ、または編集加工したテープを使用しないでください。テープ管理情報が失われ、正常に変換再生できない場合があります。
- 24 (25) fps 以外のフレームレートで収録されたテープを 1080/24 (25) PsF に変換する場合は、別売のフレームレートコンバータ (AJ-FRC27) を使用してください。

DVCPRO との互換再生

DVCPRO HD-LP 再生の他に、既存の DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO で記録されたテープを本機で再生することができます。

また、民生の DV テープ (SP) /DVCAM も本機で再生することができます。

* 本機の記録機能は、AJ-YA120AG (別売品) や AJ-YAD120AG (別売品) を搭載したときに機能します。

特 長

SD ダウンコンバーター

本機はSD ダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、HD SDI 出力*と同時にSD SDI 出力*やアナログコンポジット出力ができ、SD モニターでのモニタリングが可能です。

アップコンバーター機能*

SD フォーマットのテープを再生したときに、SD フォーマットで出力すると同時に、HD フォーマットへアップコンバートして出力することが可能です。

クロスコンバーター機能*

1080i/59Hz フォーマットの信号を720p/59Hz フォーマットの信号に、また、720p/59Hz フォーマットの信号を1080i/59Hz フォーマットの信号に変換するクロスコンバーターを内蔵しています。

HD アナログコンポーネント出力

容易にHD をモニターすることが可能です。

AC/DC オペレーション

本機の電源は、AC100V～240VとDC12Vの両方に対応しています。

つなぎ撮り機能*

REC ボタンとPAUSE ボタンを組み合わせることで、オートバック機能が働き、乱れることなく、映像をつなぐことができます。

オンスクリーンメニュー設定

きめ細かな機能設定を、オンスクリーンで行うことができます。

タイムコード

本機はTCG（タイムコードジェネレーター）/TCR（タイムコードリーダー）を内蔵しています。また、外部からのタイムコードを入力することができます*ので、外部タイムコードにリジエネすることが可能です。

多機能なインターフェース

● シリアルデジタル入出力*

HD コンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HD コンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを、1本のBNCでインターフェースすることができます。（SMPTE 292M/296M/299M）

また、SD ダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SD コンポーネントシリアル信号も出力することができます。（SMPTE 259M-C、272M-A、ITU-R BT.656-4）

● アナログビデオ出力

アナログコンポジットダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SD モニターでのモニタリングが可能です。

● 9ピンリモート

9ピンのリモートコントロール端子を装備していますので、外部リモートコントローラー（AJ-A95：別売品）からの操作が可能です。

● IEEE 1394 デジタル入出力*

デジタルビデオインターフェースボード（AJ-YAD120AG：別売品）を使用すると、IEEE 1394規格に準拠したインターフェースでの入出力が行えます。

<再生フォーマットと出力フォーマット>

再生フォーマット	出力データフォーマット
DVCPRO HD-LP、 DVCPRO HD	DVCPRO HD、 DVCPRO50、DV
DVCPRO50	DVCPRO50、DV
DVCPRO	DVCPRO、DV
DVCPRO P、DV、DV CAM	DV
E-Eモード時 ●別売のAJ-YA120AGを挿入 ●メニューNo.600 VIDEO IN SELで“1394”以外を選択	DVCPRO HD、 DVCPRO50、DV

<ノート>

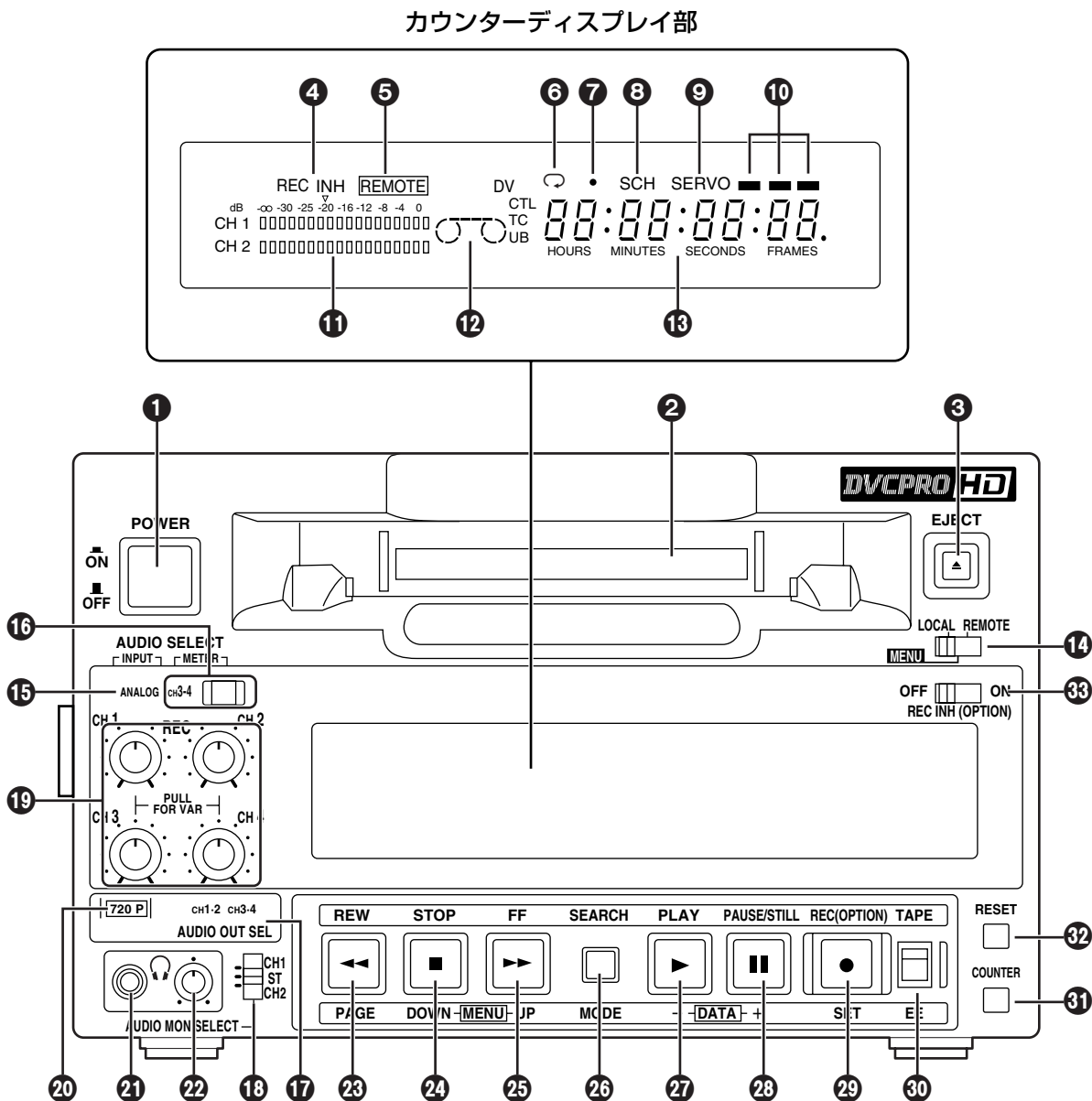
下記の設定を行ったときは、デジタルビデオインターフェースから信号が出力されません。

- メニューNo.25 SYSTEM FREQで“23/24” “25 (HD)” “25 (SD)”を選択したとき。
- メニューNo.030 HD FREQUENCYで“60/24”を選択したとき。
- メニューNo.630 1080i→HD_OUTで“720p”を選択したとき。
- メニューNo.632 720p→HD_OUTで“1080i”を選択したとき。

* 本機の記録機能は、AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載したときに機能します。

各部の名称と機能

フロントパネル



① POWER スイッチ

② カセット挿入口

挿入口のセンターにカセットを合わせ、軽く押ししてください。カセットテープは自動的にローディングされます。

③ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。

カウンター表示部がCTL表示のときは、表示がリセットされます。

④ REC/REC INH ランプ

REC : 録画中*に点灯します。

REC INH :

カセットが誤消去防止状態になっているときに点灯します。

また、REC INHIBIT スイッチ ③③ がONのときに点灯します。

このとき、記録はできません。

⑤ REMOTE ランプ

LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ ①④ で、REMOTE を選択したときに点灯します。

* AJ-YA120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

各部の名称と機能

フロントパネル

⑥ REPEAT ランプ

リピート再生時に点灯します。

<ノート>

メニュー No.161 CTL (TC) BGN や No.162 END で設定したカウンター表示モードと、リピート再生を行うカウンター表示モードが異なる場合は、点滅してリピート再生を行いません。

⑦ SYSTEM フォーマット表示

メニュー No.25 SYSTEM FREQ で選択された、モードの状態を表示します。

消灯：59/60 Hz モード

点灯：50 Hz/25 PsF モード

点滅：23/24 Hz モード*、25 Hz モード*

⑧ SCH ランプ*

HD/SD REF VIDEO IN 端子に SD 信号を入力したとき、信号のサブキャリア位相が、一定の範囲内にあるときに点灯します。

⑨ SERVO ランプ

ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると、点灯します。

⑩ チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて、点灯します。

(緑 ➡ 白 ➡ 赤)

緑：ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。

白：ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤：ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に、修正/補間がかかったときに点灯します。

⑪ レベルメーター

オーディオ信号の各レベルを表示します。

オーディオ信号は、記録時*および E-E* 選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。

⑫ カセット挿入/テープ走行表示ランプ

本機にカセットが挿入されているときに、このランプが点灯します。

☉☉：テープ挿入・STANDBY ON 時

○ ○：テープ挿入・STANDBY OFF (HALF LOADING) 時

☉☉☉☉：テープ走行時、セグメント表示がテープ走行に合わせて移動します。

☼☼☼☼：ファンが停止したとき、停止した側の ○ が点滅します。

⑬ カウンター表示部

TC や CTL のカウント値、UB、テープ残量やテープ総量、また、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。

DC 電源使用時は、電圧が低下した場合に、ワーニングとして点滅します。

約 10.6 V まで低下すると、自動的に電源が OFF になります。(メニュー No.180 BATTERY SEL で “TYPE-A” や “TYPE-B” が選択されていないとき)

CTL/TC/UB ランプ

再生中に TC や UB の情報が読めないときに点滅します。

正常に情報が読めているときは、点灯します。

⑭ LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ

メニュー設定もしくは、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。

LOCAL：本機の操作パネルで本機をコントロールするとき。

MENU：オンスクリーンメニューを設定するとき。

REMOTE：外部リモートコントローラー (AJ-A95) で本機をコントロールするとき。

⑮ ANALOG ランプ*

メニュー No.700 AUDIO IN SEL で、オーディオ入力信号に ANALOG が選択されているときに点灯します。消灯時は HD SDI 入力または INT SG になります。

<ノート>

アナログ信号入力時の各入力チャンネルは、テープ上の下記の音声トラックに記録されます。

CH1 入力 ➡ CH1 と CH5 トラック

CH2 入力 ➡ CH2 と CH6 トラック

CH3 入力 ➡ CH3 と CH7 トラック

CH4 入力 ➡ CH4 と CH8 トラック

* AJ-YA120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

各部の名称と機能

フロントパネル

⑩ METER ボタンとランプ (CH3・4)

METER ボタンを押すごとに、ヘッドホンジャック ⑭ への出力とレベルメーターの表示を、CH1/CH2 出力と CH3/CH4 出力を交互に切り替えます。

CH1/CH2 のレベル表示のときは、CH3・4 ランプは消灯します。

<ノート>

メニュー No.780 AUD OUT SEL で、アナログオーディオ出力端子を LINE に選択しているとき、METER ボタンが有効になります。

⑰ オーディオ出力ランプ (CH1・2/CH3・4)

出力されているオーディオチャンネルを、ランプで表示します。

⑱ オーディオモニター切り替えスイッチ

オーディオモニター出力とヘッドホン出力のチャンネルを選択します。

* AJ-YA120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

参考：セットアップメニューとフロントパネルスイッチによるオーディオ出力の組み合わせ

セットアップメニュー			フロントパネル				リアパネル AUDIO OUT端子				
No.780 AUD OUT SEL	No.770 MONITOR MIX	No.771 H.PHONE MIX	オーディオモニター 切り替えスイッチ ⑩	オーディオ 出力ランプ ⑰	METER ランプ ⑱	ヘッドホン 出力	CH1	CH2	CH3/L	CH4/R	AUDIO MONITOR
LINE	---	---	CH1	CH3・4	消灯	L=R (CH1)	CH1	CH2	CH3	CH4	L=R (CH1)
			CH3・4		L=R (CH3)	L=R (CH3)					
		STEREO	消灯		L=CH1/R=CH2	L=CH1/R=CH2					
			CH3・4		L=CH3/R=CH4	L=CH3/R=CH4					
		CH1+2	消灯		L=R (CH1+2)	L=R (CH1+2)					
			CH3・4		L=R (CH3+4)	L=R (CH3+4)					
		---	CH2		消灯	L=R (CH2)					L=R (CH2)
			CH3・4		L=R (CH4)	L=R (CH4)					
CH1/2	---	---	CH1	CH3・4	消灯	L=R (CH1)	CH1	CH2	L=CH1	R=CH1	L=R (CH1)
			STEREO			L=CH1/R=CH2			L=CH1	R=CH2	L=CH1/R=CH2
	CH1+2	L=R (CH1+2)				L=CH1/R=CH2			L=CH1/R=CH2		
	STEREO	L=CH1/R=CH2	L=CH1+2			R=CH1+2			L=CH1/R=CH2		
		CH1+2	L=R (CH1+2)			L=R (CH1+2)					
	---	CH2	L=R (CH2)			L=CH2			R=CH2	L=R (CH2)	
		---	---			---			---	---	
	CH3/4	---	---			CH1			CH3・4	CH3・4	L=R (CH3)
STEREO				L=CH3/R=CH4	L=CH3	R=CH4	L=CH3/R=CH4				
		CH1+2	L=R (CH3+4)	L=CH3/R=CH4	L=CH3/R=CH4						
STEREO		L=CH3/R=CH4	L=CH3+4	R=CH3+4	L=CH3/R=CH4						
		CH1+2	L=R (CH3+4)	L=R (CH3+4)							
---		CH2	L=R (CH4)	L=CH4	R=CH4	L=R (CH4)					
		---	---	---	---	---					

各部の名称と機能

フロントパネル

19 アナログオーディオ信号記録レベルの調整ボリューム*

アナログオーディオ信号 CH1/CH2/CH3/CH4 (CH5/CH6/CH7/CH8 連動) の記録レベルを調整します。

PULL FOR VARIABLE 方式で、つまみを引き上げた位置のときに調整できます。つまみを押し下げた位置の場合は、信号レベルが初期値になります。

<ノート>

HD デジタル・オーディオ信号のレベルは、調整できません。

20 720p ランプ

720p システムが選択されているときに点灯します。

21 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、記録*/再生の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

22 音量調整ボリューム

ヘッドホンの音量を調整するボリュームです。

23 REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。

サーチモード (サーチスチル/FWD サーチ/FWD サーチスチル/REV サーチスチル) 中に押すと、REV サーチになり、メニュー No.150 SEARCH SPEED で設定したスピードで巻き戻し再生します。(19 ページ参照)

スローモード (スロースチル/FWD スロー/FWD スロースチル) 中に押すと、REV リニア 0.3 倍速再生になります。(20 ページ参照)

24 STOP ボタン

押すと、テープ走行が停止し、TAPE/EE スイッチ 30 が「TAPE」のときには、静止画をモニターすることができます。

ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。

ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF (ハーフローディング) モードになります。

本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

静止画のとき、モニターにノイズが現れることがあります。異常ではありません。

25 FF ボタン

押すと、テープを早送りします。

サーチモード (サーチスチル/REV サーチ/REV サーチスチル/FWD サーチスチル) 中に押すと、FWD サーチになり、メニュー No.150 SEARCH SPEED で設定したスピードで早送り再生します。(19 ページ参照)

スローモード (スロースチル/REV スロー/REV スロースチル) 中に押すと、FWD リニア 0.3 倍速再生になります。(20 ページ参照)

26 SEARCH ボタン

押すと、サーチモードあるいは、スローモードになります。(19、20 ページ参照)

27 PLAY ボタン

押すと、再生が始まります。

REC ボタンと同時に押すと、記録*が始まります。

28 PAUSE/STILL ボタン

記録中に押すと、一時停止します。再度押すと、記録を再開*します。

再生中に押すと、静止画になります。再度押すと、再生を再開します。

FWD/REV サーチ中に押すと、一時停止 (FWD/REV サーチスチル) します。再度押すと、FWD/REV サーチを再開します。

FWD/REV スロー中に押すと、一時停止 (FWD/REV スロースチル) します。再度押すと、FWD/REV スローを再開します。

FWD/REV スローは、リニア 0.3 倍速再生です。一時停止した場合は、モニターにノイズが現れることがあります。異常ではありません。

(20 ページ参照)

* AJ-YA120AG (別売品) または、AJ-YAD120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

各部の名称と機能

フロントパネル

29 REC ボタン*

オプションボード非装着時

本体はプレーヤーですので、REC ボタンを押しても記録を行いません。

REC ボタンを押すとカウンターディスプレイ部の“REC INH”ランプが数秒間点灯します。また、メニュー No.006 DISPLAY SEL で「T&S&M」を選択している場合、スーパー表示のモード表示部に“NO OPTION FOR REC”と表示されます。

AJ-YA120AG または、AJ-YAD120AG 装着時
PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。

STOP 中や EJECT 中に REC ボタンを押すと、TAPE/EE スイッチが TAPE に設定されていても、入力ビデオ信号やオーディオ信号を確認することができます。

また、タイムコードジェネレーターの値を確認することができます。(REC CHECK モード)

STOP ボタンなど、他の操作ボタンを押すと、REC CHECK モードが解除されます。

30 TAPE/EE スイッチ

STOP 中に出力される信号を選択します。

TAPE :

テープから再生される信号を出力します。

EE :

オプションボード非装着時

メニュー No.106 EJECT EE SEL で選択された信号を出力します。なお、工場出荷時は映像信号は Black 信号、音声出力はミュートが選択されています。

AJ-YA120AG または、AJ-YAD120AG 装着時
映像信号はメニュー No.600 VIDEO IN SEL で選択された信号を出力し、オーディオ信号は、メニュー No.700 AUDIO IN SEL で選択された信号を出力します。

ただし、VIDEO IN SEL で“1394”を選択した場合は、オーディオ入力信号も DV 端子 (デジタルビデオインターフェース) からの信号になります。

<ノート>

スイッチを切り替えるときに、画像と音声が入乱れることがあります。

31 COUNTER ボタン

カウンター表示部の切り替えを行います。

押すごとに「CTL ▶ TC ▶ UB ▶ r ▶ PB FORMAT ▶ CTL …」と切り替わります。

CTL : テープタイマー (コントロール信号) を表示します。

TC : タイムコードを表示します。

UB : ユーザーズビットを表示します。

r : テープ残量とテープ総量を分単位で表示します。

(例) [r30 - 46] :

テープ残量 : 30 分、

テープ総量 : 46 分

PB FORMAT :

再生中のテープのフォーマットを表示します。

再生フォーマット	カウンター表示
DVCPRO HD-LP (1080i)	Hd 1080
DVCPRO HD-LP (720P)	Hd 720P
DVCPRO HD (1080i)	Hd 1080 SP
DVCPRO HD (720P)	Hd 720P SP
DVCPRO50 (422)	Sd 50
DVCPRO (411)	Sd 25
DVCPRO50 (420P)	Sd 50P
DV*	-----
DVCAM	-----

* カウンターディスプレイ部の DV ランプが点灯します。

32 RESET ボタン

CTL モード時に押すと、カウンターの表示が 0 (リセット) になります。

33 REC INHIBIT スイッチ*

カセットテープへの記録禁止と許可を選択します

ON : カセットテープへの記録を禁止します。

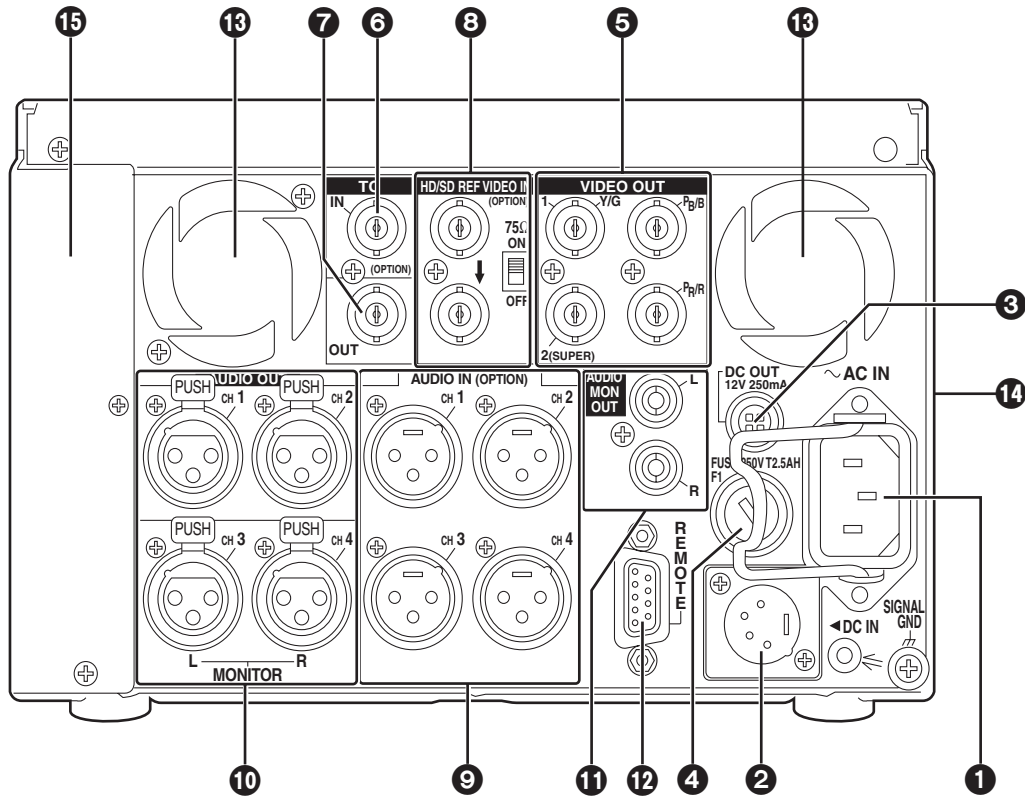
ディスプレイの REC INHIBIT ランプが点灯します。

OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能なときに、カセットテープへの記録が可能です。

* AJ-YA120AG (別売品) または、AJ-YAD120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

各部の名称と機能

リアパネル

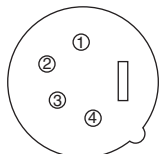


① AC IN コネクター

AC 電源のインレットです。
 付属の電源コードを接続します。
 AC 電源と DC 電源の両方が接続されている場合、
 AC 電源が優先されます。

② DC IN 端子

DC 12 V 電源の入力端子です。
 オプションの AC アダプター (AJ-B75、AJ-B95)
 をご使用ください。
 電圧が約 10.6 V まで低下した場合、本機の電源
 は自動的に OFF になります。(メニュー No.180
 BATTERY SEL で “TYPE-A” や “TYPE-B” が
 選択されていないとき)
 その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しま
 せん。必ず POWER スイッチを一度 OFF にして、
 数秒後 ON にしてください。
 AC 電源と DC 電源の両方が接続されている場合、
 AC 電源が優先されます。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	—
3	—
4	+ 12 V

<ノート>

誤って GND 端子に + 12V の電源を加えると、発火して火災を
 起こしたり、けがをする恐れがあります。

③ DC OUT 端子

DC 12 V の出力端子です。
 外部リモートコントローラー (AJ-A95) に電源
 を供給します。
 DC 電源ケーブルは、AJ-A95 に同梱されています。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	—
3	—
4	+ 12 V

④ ヒューズホルダー

AC250V/2.5A タイプ (タイムラグ型) のヒューズ
 が入っています。

<ノート>

当社指定のヒューズをご使用ください。

リアパネル

⑤ VIDEO OUT (1, 2, Y/G, P_B/B, P_R/R) 端子

VIDEO OUT1 端子はメニュー No. 615 V OUT SEL を切り替えることにより、アナログコンポジットビデオ信号、または HD アナログコンポーネントの Y (または G) を出力します。

HD アナログコンポーネント信号は、メニュー No.616 OUT MATRIX で、Y/P_B/P_R または R/G/B を切り替えることができます。

VIDEO OUT2 端子は、スーパーを埋め込んだビデオ信号が出力できます。

スーパーの埋め込みは、メニュー No.005 SUPER で切り替えます。

<ノート>

- HD アナログコンポーネント出力や HD SDI 出力*が 60 Hz/24 Hz で出力されているときは、SD SDI*は NO SYNC で出力され、アナログコンポジットは白黒モード (バーストオフ) で出力されます。
- RGB 出力の同期信号は、モニターの誤作動を防ぐため疑似 SYNC を付加しています。

⑥ TC IN 端子*

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

⑦ TC OUT 端子

再生時は、再生タイムコードを出力します。

記録時*は、内部タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

⑧ HD/SD REF VIDEO IN 端子と

75 Ω 終端スイッチ*

HD/SD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

<ノート>

- HD リファレンスとして使用する場合は、正負両極性の 3 値同期信号を入力してください。また、入力信号やテープフォーマットに合った信号を入力してください。
- SD リファレンスとして使用する場合は、RS-170A に準拠したコンポジットビデオ信号、または、ブラックバースト信号を入力してください。

⑨ AUDIO IN 端子 (CH1/CH2/CH3/CH4) *

アナログオーディオ信号の入力端子です。

⑩ AUDIO OUT/MONITOR 端子 (CH1/CH2/CH3/CH4)

アナログオーディオ信号の出力端子です。

CH3 と CH4 は、オーディオモニター出力端子 (Lch/Rch) も兼用しています。

(11 ページ参照)

⑪ AUDIO MONITOR 端子

オーディオモニター出力端子です。

ヘッドホン出力と同じ出力をします。

<ノート>

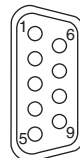
出力レベルは固定です。

⑫ REMOTE CONTROL 端子

外部リモートコントローラー (AJ-A95 : 別売品) を接続して、外部から本機を操作することができます。

<ノート>

- LOCAL/MENU/REMOTE スイッチは、REMOTE の位置にしてください。
- RS-422A インターフェース準拠ですが、編集関係の機能は動作しません。



ピン No.	信号内容
1	Frame Ground
2	Transmit A
3	Receive B
4	Receive Common
5	—
6	Transmit Common
7	Transmit B
8	Receive A
9	Frame Ground

⑬ ファンモーター

本機の冷却用のファンモーターです。

⑭ 把手

把手は側面に付いていますが、本機を動作させるときは、本機を水平に設置してください。

⑮ オプションパネル

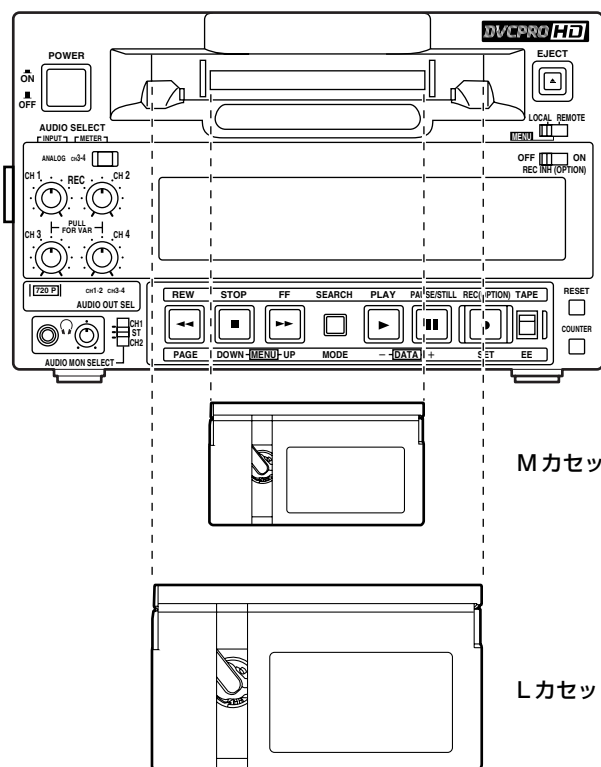
オプション AJ-YA120AG、または AJ-YAD120AG 装着時、このパネルを外してオプションに同梱のパネルに付け替えます。

くわしい取り付けかたについては、それぞれオプションの取扱説明書を参照してください。

* AJ-YA120AG (別売品) を搭載したときのみ、機能します。

テープについて

テープの挿入



挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押してください。

カセットテープは自動的にローディングされます。

Mカセットサイズ

Lカセットサイズ

使用可能なテープ

民生 DV/DVCAM カセット

標準 DV/DVCAM S カセット

ミニ DV/DVCAM L カセット

ただし、長時間用ミニ DV カセットテープ（標準モード 80 分/LP モード 120 分）は、使用することができませんのでご注意ください。

なお、民生用 DV テープはパナソニックの民生用 DV テープのご使用をお勧めいたします。

M カセット

DVCPRO HD-LP

最大 33 分の記録・再生テープ (AJ-HP33EMG)

DVCPRO 25/50/50P HD の再生テープ

L カセット

DVCPRO HD-LP

最大 64 分の記録・再生テープ (AJ-HP64ELG)

DVCPRO 25/50/50P HD の再生テープ

民生 DV/DVCAM カセット使用時の注意

- ミニ DV/DVCAM カセットテープを使用する場合は、カセットアダプター (AJ-CS455P) をご使用ください。
カセットアダプターを使用せずに、ミニ DV/DVCAM カセットテープを挿入すると、故障の原因となります。
- LP モードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生 DV/DVCAM カセットテープに記録された素材を編集するときは、DVCPRO のテープか、他の放送用 VTR に記録してご使用ください。
- ミニ DV/DVCAM カセットテープの最大送り速度は、32 倍速です。
- 民生 DV/DVCAM カセットテープのスローモーション再生は、画像が乱れる場合があります。
- テープ保護の観点から、民生 DV/DVCAM カセットテープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようにお願いします。
- 民生 DV/DVCAM カセットテープ使用時、STILL TIMER の最大時間は 10 秒に設定されています。

操作方法

電源投入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

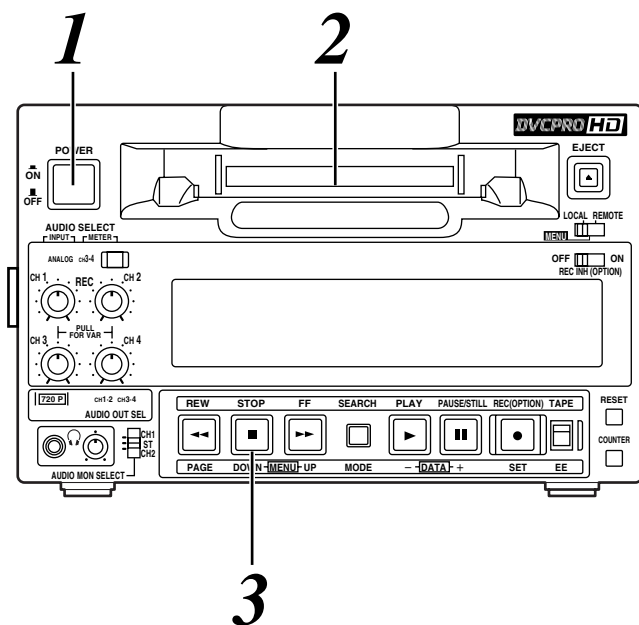
また、本機は必ず水平に設置して操作を行ってください。

1 電源を入れます。

2 カセットテープを挿入します。

カセットテープは、無理なく正規の位置に挿入してください。

3 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。



STOPモード

1 STOP ボタンを押すと、STOPモードになります

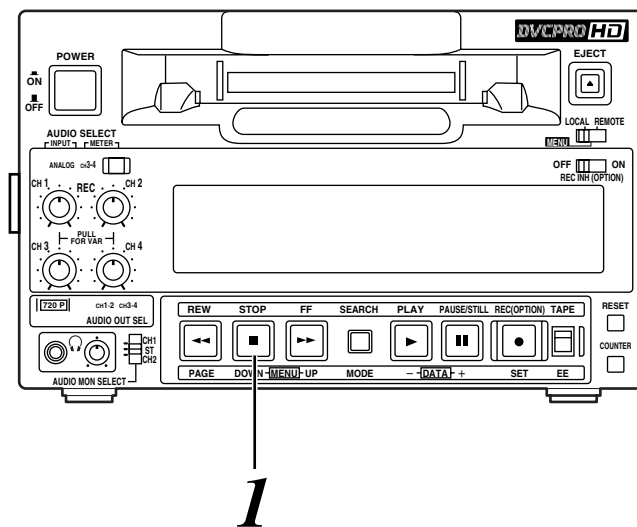
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。

- テープ保護のため、メニューNo.400 STILL TIMERで設定した時間が経過すると、テープ保護モードになります。

STOP・REW・FF・PLAYの各ボタンを押すと、それぞれのモードになります。

<STILL TIMER 設定のご注意>

- 繰り返し、同じテープの同じ箇所を使用するときなどには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一箇所での待機時間は、できる限り短くご使用ください。



<ノート>

- 電源を切る際は、EJECTボタンを押してカセットを排出するようにしてください。
- メニューNo.104 REF ALARMがONに設定されている場合、リファレンスビデオ入力がないとSTOPボタンが点滅します。

記録

この機能は、AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載したときに使用できます。

1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。

2 STOP ボタンを押して、本機をSTOPモードにします。

3 入力映像信号の選択
メニューNo.600 VIDEO IN SEL で、映像の入力信号を選択します。

4 1. 入力オーディオ信号の選択
1) 記録する信号を接続します。
2) メニューNo.700 AUDIO IN SEL で、オーディオの入力信号を選択します。
<ノート>
メニューNo.600 VIDEO IN SEL で“1394”を選択したときは、AUDIO IN SEL の設定に関係なく DV 端子（デジタルビデオインターフェース）からのオーディオ入力になります。

2. アナログオーディオレベル調整
● オーディオ入力信号にアナログオーディオを選択した場合の、オーディオ入力信号レベルを調整します。
オーディオ信号は、オーディオ記録レベルの調整ボリュームを押し込んだ状態で、適正なレベルで記録されます。
<ノート>
オーディオ入力信号にHD SDIやDV端子（デジタルビデオインターフェース）からの信号を選択したときは、レベル調整ができません。

5 REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
メニューNo.154 AUTO BACKが「ALL」のとき、RECボタンとPLAYボタンを押した位置より数秒間テープが巻き戻された後、助走を行い、RECボタンとPLAYボタンを押した位置から記録を開始しますので、乱れなく映像をつなぎ撮りすることができます。

6 記録を終了するときは、STOP ボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

<ノート>
記録中は、SERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。

一時停止/記録（つなぎ撮り）

1 カセットテープを再生中に、PAUSE/STILL ボタンを押します。

2 REC ボタンを押し、REC PAUSEモードにします。
このとき、E-E画面にモニター表示が切り替わります。
メニューNo.154 AUTO BACKが「REC-P」または「ALL」のとき、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より、数秒間テープが巻き戻されます。

3 PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を始めます。
1でPAUSE/STILL ボタンを押した位置までテープが走行し、記録を開始します。
<ノート>
このとき、E-E画面が表示されます。

4 再度PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を一時停止します。
メニューNo.154 AUTO BACKが「REC-P」または「ALL」のとき、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より数秒間テープが巻き戻されてから、一時停止します。

5 3と4を繰り返すことにより、つなぎ撮りを行うことができます。

操作方法

再生

1 カセットテープを挿入します。

2 PLAY ボタンを押します。
通常の再生が開始されます。

3 再生を終了するときは、STOP ボタンを押します。
VTR は、STOP モードになります。

<ノート>

- 再生中は、SERVO ランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。
- 再生の立ち上がり時は、画像が一瞬乱れます。

早送り再生/巻き戻し再生

サーチモード（サーチスチル/FWDサーチ/REVサーチ/FWDサーチスチル/REVサーチスチル）中にFFボタンまたはREWボタンを押すと、メニューNo.150 SEARCH SPEEDで設定したスピードで、早送り再生または巻き戻し再生します。

また、早送り再生中にFFボタン、または巻き戻し再生中にREWボタンを押すと、早送りや巻き戻しのスピードを1.85倍にすることができます。もう一度FFボタンまたはREWボタンを押すと、メニューNo.150 SEARCH SPEEDで設定した元のスピードに戻ります。

また、FFモード中またはREWモード中にSEARCHボタンを押すと、メニューNo.150 SEARCH SPEEDで設定したスピードまで減速し、早送り再生または巻き戻し再生します。

早送り再生中、または、巻き戻し再生中にPAUSE/STILLボタンを押すと、一時停止します。再度押すと、早送り再生または巻き戻し再生を再開します。

VTRの動作状態	操作するボタン	VTR動作の移行
PLAYまたはSTOP	SEARCH	サーチスチル
	FFまたはREW	FFまたはREW
FF	PLAYまたはSTOP	PLAYまたはSTOP
	SEARCH	FWDサーチ(早送り再生)
REW	PLAYまたはSTOP	PLAYまたはSTOP
	SEARCH	REVサーチ(巻き戻し再生)
サーチスチル	PLAYまたはSTOP	PLAYまたはSTOP
	FF	FWDサーチ(早送り再生)
	REW	REVサーチ(巻き戻し再生)
FWDサーチ(早送り再生)	SEARCH	FF
	FF	FWDサーチのスピード切り替え
	REW	REVサーチ(巻き戻し再生)
	PAUSE/STILL	FWDサーチスチル
REVサーチ(巻き戻し再生)	SEARCH	REW
	FF	FWDサーチ(早送り再生)
	REW	REVサーチのスピード切り替え
	PAUSE/STILL	REVサーチスチル
FWDサーチスチル	PAUSE/STILLまたはSEARCHまたはFF	FWDサーチ(早送り再生)
	REW	REVサーチ(巻き戻し再生)
REVサーチスチル	PAUSE/STILLまたはSEARCHまたはREW	REVサーチ(巻き戻し再生)
	FF	FWDサーチ(早送り再生)
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP

静止画再生

再生中にPAUSE/STILLボタンを押します。もう一度PAUSE/STILLボタンを押すと、通常再生に戻ります。

<ノート>

- 静止画再生中には、音声は聞こえません。
- 静止画には、ノイズが現れることがあります。

操作方法

リニア 0.3 倍速再生

静止画再生 (PLAY PAUSE) 中に SEARCH ボタンを押すと、スロースチルモードになります。

この状態で、FF ボタンまたは REW ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生をします。

リニア 0.3 倍速再生中に PAUSE/STILL ボタンを押すと、一時停止します。

再度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生を再開します。

可変速再生 (AJ-A95 接続時)

REMOTE 端子に AJ-A95 (オプション) を接続すると、AJ-A95 のサーチダイヤル操作により、可変速再生することができます。

<ノート>

- 1 倍速以外の再生速度では、画面にノイズが現れることがあります。
- 可変速再生時は、アナログ CUE トラックに記録されている音声を再生します。

VTRの動作状態	操作するボタン	VTR動作の移行
PLAY	PAUSE/STILL	PLAY PAUSE
PLAY PAUSE	PAUSE/STILL または PLAY	PLAY
	SEARCH	スロースチル
スロースチル	PLAY	PLAY
	FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
FWD スロー	REW	REV スロー
	SEARCHまたは PAUSE/STILL	FWD スロースチル
REV スロー	FF	FWD スロー
	SEARCHまたは PAUSE/STILL	REV スロースチル
FWD スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
REV スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または REW	REV スロー
	FF	FWD スロー
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP
任意の状態	STOP → FF	FF
	STOP → REW	REW

操作方法

リピート再生

BEGIN 点、END 点の設定

1 VTRをメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)

2 メニューNo.161 CTL (TC) BGNまたは、No.162 END を選択し、DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または DATA - ボタン (PLAY ボタン) を押します。

<ノート>

DATA + ボタン、DATA - ボタンを操作すると、設定と未設定の選択ができます。

未設定時の表示は、-- : -- : -- : -- となります。この状態でリピート再生を行うと、BEGIN 点がテープの始端に、END 点がテープの終端になります。

3 COUNTER ボタンで、TC、CTL のいずれかを選択します。

<ノート>

RESET ボタンを押すと、00 : 00 : 00 : 00 にリセットされます。

4 UP ボタン (FF ボタン)、DOWN ボタン (STOP ボタン) で、変更桁 (点滅表示) を選択します。

ただし、フレームの桁は選択できません。常時、「00」が表示されます。

5 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン)、DATA - ボタン (PLAY ボタン) で値が変わります。

6 設定終了後は、SET ボタン (REC ボタン) を押します。

設定値が記憶されます。

<ノート>

設定終了後、SET ボタンを押さずに MODE ボタン (SEARCH ボタン) を押すと、設定値は記憶されずに設定前の状態に戻ります。

7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、「LOCAL」もしくは、「REMOTE」の位置にします。

リピート再生モードの設定

1 VTRをメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)

2 メニューNo.160 MEMORY MODE を選択し、リピート再生モードを選択します。

設定内容	動作
OFF	通常動作
M-STOP	早送りや巻戻しを行うと、BEGIN 点付近で停止します。
REPT1	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して停止します。
CONT	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して再生することを繰り返します。

3 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、「LOCAL」もしくは、「REMOTE」の位置にします。

<ノート>

- 同じテープで何回もリピート再生を行うと画像が悪くなりますので、約 100 回を目安に新しいテープと交換してください。
- リピート再生モードで BEGIN 点に戻るときの出力映像は、メニューNo.163 REPT MODE で設定できます。
REPT MODE の設定を「FREEZE」にした場合、END 点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲で END 点を設定してください。
- メニューNo.161 CTL (TC) BGN や No.162 END で設定したときのカウンター表示モード (TC/CTL) と、リピート再生を行うカウンター表示モード (TC/CTL) が異なるときは、REPEAT ランプが点滅し、リピート再生動作を行いません。

キューアップ

つなぎ撮りを行った場合、記録開始点および記録終了点のタイムコードを自動で本機の揮発メモリにバックアップしています。(COUNTER ボタンで CTL を選択している場合は、コントロール信号をバックアップ)

下記のボタン操作により、記録開始点または、記録終了点にキューアップを行うことができます。

STOP+REW :

STOP ボタンを押しながら REW ボタンを押すと、記録開始点にキューアップします。
このとき、SEARCH ボタンが点灯して、REW ボタンが点滅します。

STOP+FF :

STOP ボタンを押しながら FF ボタンを押すと、記録終了点にキューアップします。
このとき、SEARCH ボタンが点灯して、FF ボタンが点滅します。

<ノート>

タイムコードが不連続になっている場合は、記録開始点へのキューアップを正しく行うことが出来ません。下記の設定を行ってください。

- メニュー No.154 AUTO BACK : 「REC-P」または「ALL」
- メニュー No.503 TCG MODE : 「REGEN」または「AUTO」

1

つなぎ撮りを行います。
(18 ページ参照)

2

STOP ボタンを押しながら REW ボタンを押します。
記録開始点に±1 フレームの精度でキューアップします。

3

PLAY ボタンを押し、記録内容を確認します。

4

STOP ボタンを押しながら FF ボタンを押します。
記録終了点にキューアップして、5～10 フレーム手前で停止します。

5

PAUSE/STILL ボタンを押した後、REC ボタンを押して REC PAUSE モードにします。

<ノート>

- バックアップ値は、最後につなぎ撮りを実施したイベントに対してのみ保存されます。
- STOP ボタン押して記録停止を行った場合でも、記録終了点は、本機の揮発メモリにバックアップされます。
- 未記録部分からのキューアップは、正しく行うことが出来ません。
- キューアップ中に FF/REW ボタンを押した場合、通常のサーチモードに移行します。

バリアブルフレームレートカメラの HD SDI 出力信号を記録

1

バリアブルフレームレートカメラの HD SDI (720/30p over 59.94p) 出力を本機の HD SDI 入力端子に接続します。

2

セットアップメニュー No.032 (REC REF) で「SLTC」を選択します。
HD SDI 信号に重畳されているタイムコードからフレーム情報を検出し、フィールドのズレを防止します。

3

下記の設定を行い、**2** の設定を有効にします。

- メニュー No.25 SYSTEM FREQ : 59/60
- メニュー No.020 SYS FORMAT : 720p
- メニュー No.600 VIDEO IN SEL : HDSDI

4

本機を REC PAUSE モードにします。
「一時停止/記録 (つなぎ撮り)」を参照してください。(18 ページ参照)

5

バリアブルフレームレートカメラの HD SDI 出力映像を確認しながら、PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を開始します。
タイムコードは、記録するテープの連続性を保ちながら記録されます。
ユーザーズビットは、HD SDI 信号に重畳されているものが記録されます。

操作方法

<ノート>

セットアップメニュー032 (REC REF) の設定により、テープ上に記録されるタイムコードとユーザーズビットは、次のようになります。

SLTC :

タイムコードは、記録するテープの連続性を保ちながら記録されます。

ユーザーズビットは、HD SDI 信号に重畳されているものが記録されます。

下記の設定は、無効になります。

- メニューNo.503 TCG_MODE (REGEN/PRE/AUTO)
- メニューNo.505 TCG_REGEN (TC&UB/TC/UB)
- メニューNo.507 TC_SOURCE (INT/EXT_L/SLTC/SVITC)

NORMAL :

タイムコードとユーザーズビットは、下記の設定に従って記録されます。

- メニューNo.503 TCG_MODE (REGEN/PRE/AUTO)
- メニューNo.505 TCG_REGEN (TC&UB/TC/UB)
- メニューNo.507 TC_SOURCE (INT/EXT_L/SLTC/SVITC)

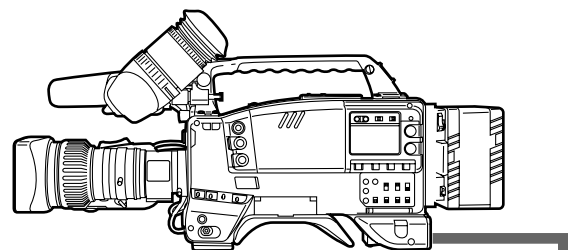
フィールドのズレ

720pのHD SDI 信号には、第1フィールドと第2フィールドを判別する情報がありません。

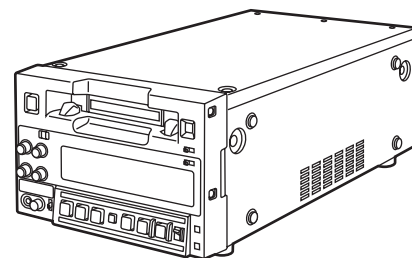
従って、通常は、HD SDI 信号を送出する機器と記録する機器を、SDの基準信号で同期を取る必要があります。

同期を取らない場合は、入力されたHD SDI 信号のフレームが検出できないために、下記のように1/2の確率でフィールドのズレ(タイムコードと映像フレームが合わない)が発生します。

バリエブルフレームレートカメラ



720/30p over 59.94p



AJ-HD1200A

バリエブルフレームレート
カメラの映像出力

A	A	B	B	C	C	D	D	E	E	F

バリエブルフレームレート
カメラのタイムコード出力

00	01	02	03	04	05
----	----	----	----	----	----

VTRの記録映像

A	B	B	C	C	D	D	E	E

VTRの記録タイムコード

00	01	02	03	04
----	----	----	----	----

このフィールドのズレを防止するために、バリエブルフレームレートカメラのHD SDI (720/30p over 59.94p) 出力を本機で記録する場合は、セットアップメニューNo.032 (REC REF) で“SLTC”を選択します。

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレームの単位で表示するときに表示します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）へ書き込まれます。このためにVTRの再生速度が、停止モード→スロー再生→高速再生まで読み取ることができます。タイムコード値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。

ユーザーズビットに使用できる数字（文字）は、0～9とA B C D E Fです。

タイムコードの設定（メニューから）

この機能は、AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載したときに使用できます。

1 VTRをメニューモードにします。
（LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。）

2 メニューNo.507 TC SOURCEを「INT」に設定します。

3 メニューNo.530 TC PRESETを選択します。

4 DATA + ボタン（PAUSE/STILL ボタン）または、DATA - ボタン（PLAY ボタン）を押すと、1 桁目の値が点滅します。

5 MENU UP ボタン（FF ボタン）または、MENU DOWN ボタン（STOP ボタン）を押すと、変更する桁が移動し点滅します。

6 DATA + ボタン（PAUSE/STILL ボタン）または、DATA - ボタン（PLAY ボタン）で値を変更します。

7 設定終了後は、SET ボタン（REC ボタン）を押します。
（通常のメニュー画面に戻ります。）

8 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチをLOCAL または、REMOTE の位置にします。

タイムコードの設定（フロントパネルから）

AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載してメニューNo.507 TC SOURCEが「INT」に設定されている場合は、タイムコードをフロントパネルから設定することができます。

1 RESET ボタンを2秒以上長押しします。

以下、タイムコードの設定（メニューから）の4～7の操作を行ってください。

タイムコード/ユーザーズビットについて

<ノート>

- 初期値は、タイムコードジェネレーターの現在値が表示されます。
- 「TC PRESET」設定時（数字が点滅している状態）にRESETボタンを押すと、00000000 にリセットされます。
- メニューNo.503 TCG MODEとNo.505 TCG REGENの組み合わせで「REGEN」に設定されているとタイムコードの設定ができません。
- 設定終了後、SETボタンを押さずにMODEボタン（SEARCHボタン）を押すと、タイムコードの設定値はキャンセルされて、通常のメニュー画面に戻ります。

ユーザーズビットの設定

この機能は、AJ-YA120AG（別売品）やAJ-YAD120AG（別売品）を搭載したときに使用できます。

1 VTRをメニューモードにします。
（LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。）

2 メニューNo.531 UB PRESETを選択します。

以下、タイムコードの設定方法と同じです。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

1 STOPモードにします。

2 COUNTERボタンで、「TC」または「UB」にします。

TC : タイムコードが表示されます。

UB : ユーザーズビットが表示されます。

3 PLAYボタンを押します。

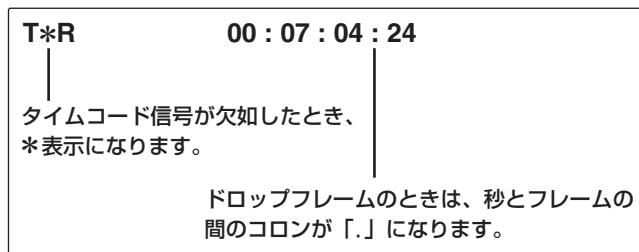
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。

メニューNo.005 SUPERが「CMPST」に設定されている場合、VIDEO OUT2端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

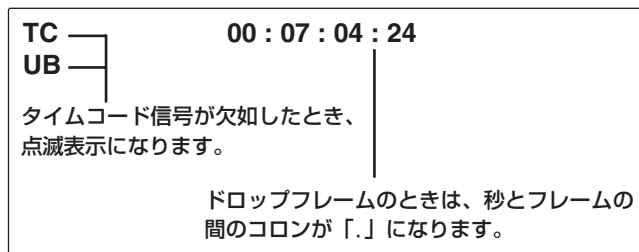
<ノート>

- ドロップフレームタイムコードを読んでいるときは、秒とフレームの間のコロンのピリオドが変わります。
- タイムコード信号が欠如したときには、CTL信号で自動的に補います。
ディスプレイは、以下のようになります。

スーパー表示



カウンターディスプレイ



スーパーインポーズ画面

モニターテレビと VIDEO OUT2 端子を接続している場合は、モニターテレビにコントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

また、オプションの AJ-YA120AG 装着時はメニュー No.005 SUPER の設定で、スーパーインポーズを出力する端子を切り替えることができます。(37 ページ参照)



省略文字

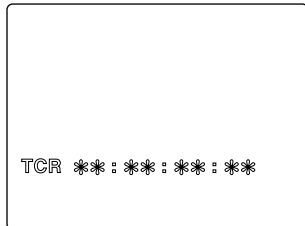
- CTL (コントロール信号)
- TCR (タイムコードの再生値)
- UBR (ユーザーズビットの再生値)

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、メニュー No.009 CHARA TYPE の設定で、文字の背景を変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、メニュー No.007 CHARA H-POS と No.008 CHARA V-POS で変更することができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

<ノート>

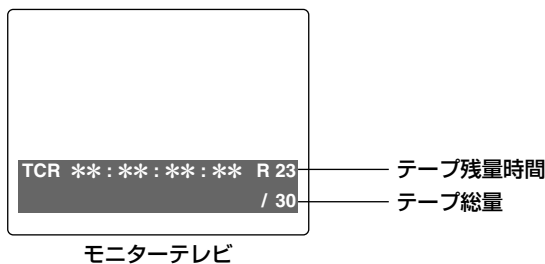
スーパーインポーズは PAGE ボタンと DATA + ボタンまたは DATA - ボタンを押すと、スーパーが表示され設定を確認することができます。

PAGE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。

MODE ボタン、または SET ボタンを押すと元に戻ります。

テープ残量表示

テープ残量表示は、メニュー No.003 REMAIN SEL の設定で、表示位置を変えることができます。(37 ページ参照)



図はメニュー No.003 REMAIN SEL の設定で、「R/TTL」を選択した場合のものです。

スーパーインポーズ画面

動作モード

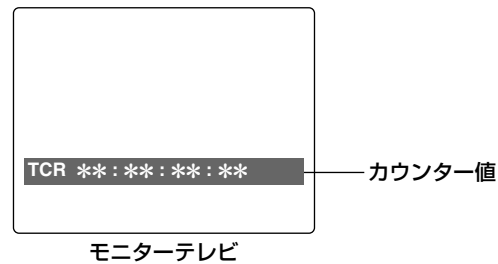
メニュー No.006 DISPLAY SEL で表示する内容を選択できます。

- 「TIME」 : カウンター値
- 「T&STA」 : カウンター値、VTR 動作モード
- 「T&S&M」 : カウンター値、VTR 動作モード、
テープフォーマットおよびエラーメッ
セージ
- 「T&RT」 : カウンター値、記録した時刻
- 「T&YMD」 : カウンター値、
記録した日付 (年 ▶ 月 ▶ 日の順)
- 「T&MDY」 : カウンター値、
記録した日付 (月 ▶ 日 ▶ 年の順)
- 「T&DMY」 : カウンター値、
記録した日付 (日 ▶ 月 ▶ 年の順)
- 「T&UB」 : カウンター値、ユーザーズビット
ただし COUNTER ボタンで UB を選
択しているときは、ユーザーズビット
の次にタイムコードが表示されます。
- 「T&CTL」 : カウンター値、テープタイマー
ただし COUNTER ボタンで CTL を
選択しているときは、テープタイマー
の次にタイムコードが表示されます。
- 「T&T」 : カウンター値、タイムコード

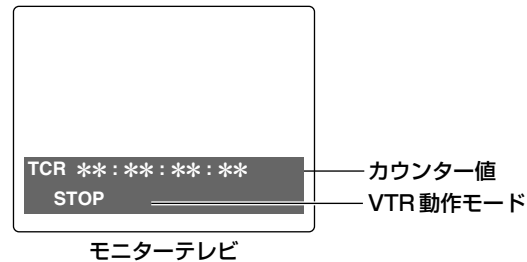
<ノート>

REC TIME および REC DATE は、DV/DVCAM フォーマット再生時のみ表示します。DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO P/DVCPRO フォーマット時は、動作モードを表示しません。

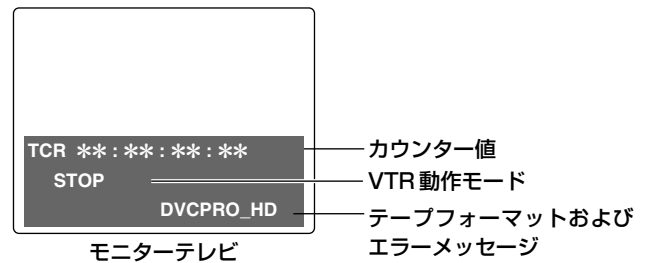
TIME モード



T&STA モード



T&S&M モード



<ノート>

テープの始端、終端を検知したとき、VTR 動作モード時は、行の先頭に [BOT (beginning of tape)] [EOT (end of tape)] を表示します。

表示例：

EOT STOP

(テープ終端で STOP 状態)

BOT STANDBY OFF

(テープ始端でスタンバイ状態)

セットアップ (初期設定)

本機的主要な設定は、本機に接続されたビデオモニターに表示される、オンスクリーンメニューで設定・確認することができます。

また、フロントパネルのディスプレイ部に表示される、項目番号と設定番号で設定・確認することもできます。

さらに、ユーザー設定メモリーを1セット用意していますので、あらかじめ好みの設定をメモリーして使用することが可能です。

オンスクリーンメニューでの設定方法

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。

本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

SET-UP MENU	MAIN
	NO.00
* 00 SYSTEM	
000 BASIC	
100 OPERATION	
200 INTERFACE	
400 TAPE PROTECT	
500 TIME CODE	
600 VIDEO	
700 AUDIO	
A00 MENU	

メニュー設定モード時は、操作ボタンの“REW, STOP, FF, SEARCH, PLAY, PAUSE/STILL, REC”は、それぞれ“PAGE, MENU-DOWN, MENU-UP, MODE, DATA -, DATA +, SET”として動作します。

2 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したいメニューに移動します。

3 MODE ボタンを押し、各項目の設定を行います。メニュー画面に戻るときは、PAGE ボタンを押しながら MODE ボタンを押しします。

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したい項目に移動します。

また、PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押すと、ページを UP/DOWN することができます。

5 DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押し、設定値を変更します。

6 SET ボタンを押し、設定値を確定します。

複数の項目を変更する場合は、4・5・6 の操作を繰り返し行います。

<ノート>

MODE ボタンを押すことにより、設定値をキャンセルすることができます。

設定値を確定せずに他の項目を変更する場合は、MODE ボタンを押し、その後 4・5・6 の操作を行ってください。

7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。

メニュー設定が終了します。

工場出荷時の設定値への戻し方

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。

本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押しします。

本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT MODE
* 0 ESCAPE
1 LOAD
2 SAVE
3 PROTECT

セットアップ (初期設定)

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置にして、SET ボタンを押します。

本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <LOAD>
                * NO
                FACTORY
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを FACTORY に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを FACTORY に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外が工場出荷時の設定値に戻ります。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、工場出荷時の設定値に戻らずにメニュー画面に戻ります。

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。メニュー設定が終了します。

ユーザーデフォルトの設定方法

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。

本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 「オンスクリーンメニューでの設定方法」2 ～ 6 の操作を行い希望の設定値に変更します。

3 RESET ボタンを押します。本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
            * 0 ESCAPE
              1 LOAD
              2 SAVE
              3 PROTECT
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを SAVE の位置にして、SET ボタンを押します。

本機は SAVE モードになり、SAVE 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <SAVE>
                * NO
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

5 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外の設定値が更新されます。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、更新されないままメニュー画面に戻ります。

6 SAVE を確認する画面が表示されるので、MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置にして、SET ボタンを押します。設定値がメモリーされます。

```
SAVE OK?
          * NO
           YES
```

7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。

メニュー設定が終了します。

セットアップ (初期設定)

ユーザーデフォルトのロード方法

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。

本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。

本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
* 0 ESCAPE
  1 LOAD
  2 SAVE
  3 PROTECT
```

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置にして、SET ボタンを押します。

本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU <LOAD>
* NO
  FACTORY
  USER (ALL)
  USER (NOT SYSTEM)
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外がメモリーされているユーザー設定値で動作します。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、メモリーされているユーザー設定値に変更されないままメニュー画面に戻ります。

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。

メニュー設定が終了します。

メニュープロテクトの方法

本機をメニュープロテクトモードにすることにより、フロントパネルの LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にしても、セットアップメニューを開かなくすることができます。

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。

本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。

本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
* 0 ESCAPE
  1 LOAD
  2 SAVE
  3 PROTECT
```

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを PROTECT の位置にして、SET ボタンを押します。

本機はメニュープロテクト設定モードになり、メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

```
MENU PROTECT OK?
* NO
  YES
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置に移動して、SET ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

セットアップ (初期設定)

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
本機がメニュープロテクトモードに設定されます。
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードにならず、ビデオモニターの画面に「MENU PROTECTED」と表示されます。

<ノート>

メニュープロテクトモード設定中に、フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードになり、通常のメニュー設定ができます。「オンスクリーンメニューでの設定方法」の 2 ~ 7 を実施してください。

メニュープロテクトの解除方法

1 フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
メニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 前記「メニュープロテクトの方法」の 2・3 を実施します。
メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

MENU PROTECT OK? * NO YES

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを NO の位置に移動して、SET ボタンを押します。
メニュープロテクトが解除されます。

DIAG メニューの表示方法

本機には、「HOUR メーター」「ソフトウェアのバージョン」「デッキのシリアル No.」をビデオモニターに表示させる機能があります。

1 EJECT ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機は DIAG 表示モードになり、ビデオモニターに HOUR メーターとデッキのシリアル No. が表示されます。

DIAG-MENU	HOURS METER	
Ser	*****	
H00	OPERATION	00000H
H01	DRUM RUN	00000H
H02	TAPE RUN	00000H
H03	THREADING	00000T
H04	F LOADING	00000T
H11	DRUM RUN r	00000H
H12	TAPE RUN r	00000H
H13	THREADING r	00000T
H14	F LOADING r	00000T

「r」が付いている項目は、サービス時にリセットできる項目です。

2 HOUR メーターが表示されている状態で、SEARCH ボタンを押します。
ソフトウェアのバージョンが、ビデオモニターに表示されます。

DIAG-MENU	SOFT VERSION
SYSIF	1.**-**-**
AVDV	1.**-**-**
SERVO	1.**-**-**
END	

再度 SEARCH ボタンを押すと HOUR メーター表示に戻ります。

3 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
通常のモードに戻ります。

セットアップメニュー

表示されるメニューについて

表示されるメニューは、メニューNo.25 SYSTEM FREQの選択、および装備しているオプションボード (AJ-YA120AG、AJ-YAD120AG) によって変化します。

No.	スーパー表示	オプションボード 無し		AJ-YA120AG 有り				AJ-YAD120AG 有り		オプションボード両方 有り					
		59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)
12	SYS H (HD)	No	No						No	No					
14	SYS SC (SD)	No	No						No	No					
15	VO SYS H (SD)	No	No						No	No					
16	SD SYS H (SD)	No	No						No	No					
18	SCH COAR (SD)	No	No						No	No					
19	SCH FINE (SD)	No	No						No	No					
20	AV PHASE														
25	SYSTEM FREQ														
26	HD SYS H ADV	No	No		No	No	No	No	No	No		No	No	No	No
001	LOCAL ENA														
002	TAPE TIMER				No		No	No				No		No	No
003	REMAIN SEL														
005	SUPER														
006	DISPLAY SEL														
007	CHARA H POS														
008	CHARA V POS														
009	CHARA TYPE														
020	SYS FORMAT		No		No	No	No	No		No		No	No	No	No
022	PB FORMAT														
023	FORMAT SEL														
030	HD FREQUENCY		No			No	No	No		No			No	No	No
031	OUT REF	No	No		No				No	No		No			
032	REC REF	No	No		No	No	No	No	No	No		No	No	No	No
101	SHTL MAX														
102	FF. REW MAX														
104	REF ALARM	No	No						No	No					
106	EJECT EE SEL														
107	EE MODE SEL	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
108	PLAY DELAY														
109	CAP LOCK				No		No	No				No		No	No
110	AUTO REW														
112	FRZ MODE SEL														
114	REC INH LAMP	No	No												
115	EJECT SW INH	No	No		No		No	No				No		No	No
118	SP MODE INH	No	No		No		No	No				No		No	No
150	SEARCH SPEED														
152	HUMID OPE														
154	AUTO BACK	No	No		No		No	No				No		No	No
160	MEMORY MODE														
161	CTL BGN/TC BGN														
162	END														
163	REPT MODE														
180	BATTERY SEL														
181	TYPE-A NEAR														
182	TYPE-A END														

セットアップメニュー

No.	スーパー表示	オプションボード 無し		AJ-YA120AG 有り					AJ-YAD120AG 有り		オプションボード両方 有り				
		59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)
183	TYPE-B NEAR														
184	TYPE-B END														
202	ID SEL														
400	STILL TIMER														
401	SRC PROTECT														
402	DRUM STDBY														
403	STOP PROTECT														
500	VITC BLANK				No		No				No		No		
501	VITC POS-1				No		No				No		No		
502	VITC POS-2				No		No				No		No		
503	TCG MODE	No	No		No		No	No			No		No	No	
504	RUN MODE	No	No		No		No	No			No		No	No	
505	TCG REGEN	No	No		No		No	No			No		No	No	
507	TC SOURCE	No	No		No		No	No			No		No	No	
508	BINARY GP	No	No		No		No	No			No		No	No	
509	PHASE CORR														
510	TCG CF FLAG	No	No		No		No	No			No		No	No	
511	DF MODE		No		No	No	No	No	No		No	No	No	No	
512	TC OUT REF	No	No		No		No	No			No		No	No	
513	VITC OUT														
514	HD EMBD VITC	No	No				No	No	No					No	
515	HD EMBD LTC	No	No				No	No	No					No	
530	TC PRESET	No	No		No		No	No			No		No	No	
531	UB PRESET	No	No		No		No	No			No		No	No	
600	VIDEO IN SEL	No	No		No		No	No	No	No	No		No	No	
601	VIDEO INT SG	No	No		No		No	No	No	No	No		No	No	
602	SDI IN MODE	No	No		No		No	No	No	No	No		No	No	
603	V-MUTE SEL														
604	FREEZE SEL														
615	V OUT SEL						No	No					No	No	
616	OUT MATRIX						No							No	
619	V_FILTER	No	No	No	No	No	No		No	No	No	No	No		
620	DOWNCON MODE						No						No		
621	UPCON V MODE	No	No				No	No	No	No			No	No	
626	D/C ENH H						No						No		
627	D/C ENH V						No						No		
628	U/C ENH H	No	No				No	No	No	No			No	No	
629	U/C ENH V	No	No				No	No	No	No			No	No	
630	1080i→HD_OUT	No	No		No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	
632	720p→HD_OUT	No	No		No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	
634	480p→HD_OUT	No	No		No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	
636	480i→HD_OUT	No	No		No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	
676	BLK CLIP		No			No	No	No		No			No	No	
680	CC (F1) BLANK		No		No	No	No	No		No			No	No	
681	CC (F2) BLANK		No		No	No	No	No		No			No	No	
684	EDH (SD)	No	No				No		No	No			No		
685	ESR MODE (SD)		No			No	No	No		No			No	No	
686	CCR MODE (SD)		No			No	No	No		No			No	No	
687	SDI INDEX 0	No	No		No		No		No	No			No		
689	COMP MODE	No	No		No	No	No	No	No	No			No	No	

セットアップメニュー

No.	スーパー表示	オプションボード 無し		AJ-YA120AG 有り					AJ-YAD120AG 有り		オプションボード両方 有り				
		59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	59/60	50i/25P	59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)
700	AUDIO IN SEL	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
701	CH1 IN LV	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
702	CH2 IN LV	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
703	CH3 IN LV	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
704	CH4 IN LV	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
706	CH1 OUT LV														
707	CH2 OUT LV														
708	CH3/L OUT LV														
709	CH4/R OUT LV														
730	REC CUE	No	No		No		No	No	No	No		No		No	No
731	PB FADE														
732	EMBEDDED AUD	No	No						No	No					
759	DV PB ATT														
760	REC PT MUTE														
762	AUD RATE CON														
765	CUE OUT SEL														
769	MONI SEL														
770	MONITOR MIX														
771	H. PHONE MIX														
780	AUD OUT SEL														
781	IN IMP SEL	No	No		No		No	No				No		No	No
880	DIF SPEED	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
882	DIF IN CH	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
883	DIF OUT CH	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
886	DIF CONFIG	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
890	DIF AUD OUT	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
891	DIF DV AUDIO	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
894	HD→DIF OUT	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
895	50M→DIF OUT	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
896	25M→DIF OUT	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
899	DIF SUPER	No	No	No	No	No	No	No				No		No	No
A02	P. ON LOAD														

<ノート>

メニューNo.880～899については、AJ-YAD120AGの取扱説明書をご覧ください。

セットアップメニュー

SYSTEM

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
12	SYS H (HD)	0000 : 1100 : 2200	- 1100 : Q : 1100	HD SDI出力のシステム位相を調整します。 (13.5ns ステップ) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。 <ノート> 設定範囲は ●SYSTEM FREQ を 50i/25P、25(HD)、また、25(SD) に設定しているときは、- 1320 ~ Q ~ 1320 ●SYSTEM FREQ を 23/24 に設定しているときは、- 1375 ~ Q ~ 1375 になります。
14	SYS SC (SD)	0000 : 0108 : 0216	- 108 : Q : 108	VIDEO 出力および SD SDI 出力のシステム位相を調整します。 (トータル可変範囲 $\pm 180^\circ$ 以上) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。
15	VO SYS H (SD)	0000 : 0858 : 1716	- 858 : Q : 858	VIDEO 出力のシステム位相を調整します。 (37ns ステップ) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。 <ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQ を 50i/25P、25(HD)、また、25(SD) に設定しているとき、設定範囲は、- 864 ~ 0 ~ 864 になります。
16	SD SYS H (SD)	0000 : 0858 : 1716	- 858 : Q : 858	SD SDI 出力のシステム位相を調整します。 (37ns ステップ) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。 <ノート> メニュー No.25 SYSTEM FREQ を 50i/25P、25(HD)、また、25(SD) に設定しているとき、設定範囲は、- 864 ~ 0 ~ 864 になります。
18	SCH COAR (SD)	0000 0001 0002 0003	Q 90 180 270	VIDEO 出力の SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相を調整します。 (90° ごとの 4 ポジション) SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。
19	SCH FINE (SD)	0000 : 0032 : 0064	- 32 : Q : 32	VIDEO 出力の SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相を調整します。 (可変範囲 $\pm 45^\circ$ 以上) Q SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。 No.18 SCH COAR (SD) と合わせて $\pm 180^\circ$ をカバーします。
20	AV PHASE	0000 : 0100 : 0200	- 100 : Q : 100	VIDEO 出力に対しての、AUDIO 出力の位相を調整します。 (20.8 μ s ステップ) - : 映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 + : 映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

SYSTEM

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
25	SYSTEM FREQ	0000 0001	59/60 50i/25P	システム周波数の選択を行います。 0 : 59.94 Hz または、60 Hz のシステム周波数を選択します。 1 : 50 Hz または、25 PsF のシステム周波数を選択します。 このとき、1080/25 PsF フォーマットの信号は、1080/50i フォーマットと同様に記録することや再生することができます。 2 : 23.98 Hz または 24 Hz のシステム周波数を選択します。 3 : 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、SD SDI 出力とアナログコンポジット出力からブラック信号が出力されます。 4 : 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、HD SDI 出力とアナログコンポーネント出力からブラック信号が出力されます。 <ノート> この項目の設定を変更しただけでは、メニュー項目が点滅するだけで、設定内容が本機に反映されません。設定内容を本機に反映するためには、一度、電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。
		*0002 *0003 *0004	*23/24 *25 (HD) *25 (SD)	
26	HD SYS H ADV	0000 0001	0H 90H	HD 出力を SD 出力に対して 90H、位相を進ませる出力を選択します。 0 : HD/SD 出力とも、HD/SD REF 出力と同位相で出力します。 1 : HD 出力は SD 出力より 90H 進んだ位相で出力します。 なお、SD REF 入力時は REF 入力と SD 出力が同位相になり、HD REF 入力時は REF 入力と HD 出力が同位相になります。 <ノート> ● オーディオ出力および TC 出力は、HD 出力と同位相で出力します。 ● 720p 時は、120H の位相差となります。 ● メニュー No.600 VIDEO IN SEL で "1394" を選択したときや SD フォーマットのテープを再生しているときは、この項目の設定が 0H に固定されます。

* AJ-YA120AG (別売品) を装着時、表示されます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

BASIC

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/MENU/LOCAL スイッチが「REMOTE」のときに、フロントパネルで操作可能なボタンを設定します。 0：全ての操作ができません。 1：STOP と EJECT のみが操作可能です。 2：COUNTER と RESET 以外、全ての操作が可能です。
002	TAPE TIMER	0000 0001	±12h 24h	CTL カウンター表示の時間表示を設定します。 0：12時間表示 1：24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001 0002 0003	OFF 2L 1L R/TTL	VIDEO OUT2 端子へのテープ残量時間や、テープ総量のスーパー表示を設定します。 0：表示しない。 1：2行目にテープ残量時間を表示します。 2：1行目にテープ残量時間を表示します。 3：1行目にテープ残量時間、2行目にテープ総量を表示します。 <ノート> ● 2Lに設定したとき、メニューNo.006 DISPLAY SELでTIMEが設定されていると表示しません。 ● R/TTLに設定したとき、メニューNo.006 DISPLAY SELでTIMEが設定されているとテープ総量を表示しません。
005	SUPER	0000 0001 0002 *0003 *0004 *0005 *0006	OFF CMPST CMPNT SDSDI HSDSDI CPS&SD CPN&HD	各端子へのスーパー表示を設定します。 0：すべての出力に表示しません。 1：VIDEO OUT2 に表示します。 2：HD コンポーネント出力 (Y) に表示します。 3：SD SDI OUT に表示します。 4：HD SDI OUT に表示します。 5：VIDEO OUT2 と SD SDI OUT に表示します。 6：HD コンポーネント出力 (Y) と HD SDI OUT に表示します。

<ノート>

メニュー No.005 SUPER で OFF に設定されていても、メニュー設定中は、メニュー No.006 DISPLAY SEL の設定内容でスーパーが表示されます。メニュー設定を抜けると、メニュー No.005 SUPER の設定に従って表示します。

* AJ-YA120AG (別売品) を装着時、表示されます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

BASIC

項目		設定値		設定内容																							
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示																								
006	DISPLAY SEL	0000	TIME	スーパー表示内容を設定します。 0：データだけを表示します。 (データとは、COUNTER ボタンで選択されている CTL/TC/UB の値を示します)																							
		0001	T&STA	1：データ・動作状態を表示します。																							
		0002	T&S&M	2：データ・動作状態・モードを表示します。																							
		0003	T&RT	3：データ・REC TIME を表示します。																							
		0004	T&YMD	4：データ・REC DATE (年月日) を表示します。																							
		0005	T&MDY	5：データ・REC DATE (月日年) を表示します。																							
		0006	T&DMY	6：データ・REC DATE (日月年) を表示します。																							
		0007	T&UB	7：データ・ユーザーズビットを表示します。ただし COUNTER ボタンで UB を選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示されます。																							
		0008	T&CTL	8：データ・CTL を表示します。ただし COUNTER ボタンで CTL を選択しているときは、CTL データの次にタイムコードが表示されます。																							
		0009	T&T	9：データ・タイムコードを表示します。																							
<ノート> <ul style="list-style-type: none"> モード表示は各フォーマットにしたがって、以下のように表示します。 <table border="0"> <tr> <td><フォーマット></td> <td></td> <td><表示></td> </tr> <tr> <td>DVCPRO HD-LP</td> <td>➡</td> <td>DVCPRO_HD-LP</td> </tr> <tr> <td>DVCPRO HD</td> <td>➡</td> <td>DVCPRO_HD</td> </tr> <tr> <td>DVCPRO50</td> <td>➡</td> <td>DVCPRO_50</td> </tr> <tr> <td>DVCPRO50P</td> <td>➡</td> <td>DVCPRO_P</td> </tr> <tr> <td>DVCPRO</td> <td>➡</td> <td>DVCPRO</td> </tr> <tr> <td>DV</td> <td>➡</td> <td>DV</td> </tr> <tr> <td>DVCAM</td> <td>➡</td> <td>DVCAM</td> </tr> </table> T&S&M に設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージをスーパー表示します。 REC TIME および REC DATE は、DV/DVCAM フォーマット再生時のみ表示します。DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO50P/DVCPRO フォーマット時は、動作モードを表示します。 				<フォーマット>		<表示>	DVCPRO HD-LP	➡	DVCPRO_HD-LP	DVCPRO HD	➡	DVCPRO_HD	DVCPRO50	➡	DVCPRO_50	DVCPRO50P	➡	DVCPRO_P	DVCPRO	➡	DVCPRO	DV	➡	DV	DVCAM	➡	DVCAM
<フォーマット>		<表示>																									
DVCPRO HD-LP	➡	DVCPRO_HD-LP																									
DVCPRO HD	➡	DVCPRO_HD																									
DVCPRO50	➡	DVCPRO_50																									
DVCPRO50P	➡	DVCPRO_P																									
DVCPRO	➡	DVCPRO																									
DV	➡	DV																									
DVCAM	➡	DVCAM																									
007	CHARA H-POS	0000	0	スーパー表示の水平方向文字位置を設定します。																							
		0006	6																								
		0037	37																								
008	CHARA V-POS	0000	0	スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。																							
		0023	23																								
		0032	32																								
009	CHARA TYPE	0000	WHITE	スーパー表示やメニューの表示タイプを設定します。 0：白文字を、黒のベタ塗りの背景で表示します。 1：白文字を、黒の縁取りで表示します。																							
		0001	W/OUT																								

<ノート>

メニュー No.007 CHARA H-POS と No.008 CHARA V-POS の設定時、PAGE ボタンと DATA + ボタンまたは DATA - ボタンを押すと、スーパーが表示され設定を確認することができます。PAGE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

BASIC

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
020	SYS FORMAT	<u>0000</u> 0001	<u>1080i</u> 720p	HD REF 信号を含めた記録・再生フォーマットを設定します。 0 : 1080i モード 1 : 720p モード
022	PB FORMAT	0000 <u>0001</u>	MANUAL AUTO	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : メニュー No.020 SYS FORMAT の設定に従います。 1 : テープに記録されているフォーマットに従います。
023	FORMAT SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006	HD-LP HD-SP 50M 25M 50Mp DV DVCAM	メニュー No.22 PB FORMAT が「MANUAL」に設定されている場合のフォーマットを選択します。 0 : DVCPRO HD-LP フォーマットを選択し、メニュー No.020 SYS FORMAT の設定に従います。 1 : DVCPRO HD フォーマットを選択し、メニュー No.020 SYS FORMAT の設定に従います。 2 : DVCPRO50 (422) フォーマットを選択します。 3 : DVCPRO (411) フォーマットを選択します。 4 : DVCPROP (420p) フォーマットを選択します。 5 : DV フォーマットを選択します。 6 : DVCAM フォーマットを選択します。
030	HD FREQUENCY	<u>0000</u> 0001	<u>59/23</u> 60/24	FLD 周波数を設定します。 0 : 59.94/23.98Hz に設定します。 1 : 60/24Hz に設定します。 <ノート> ここで設定した FLD 周波数は、OUT REF 設定に対応した入力がないときのみ有効になります。 対応する入力がある場合は、FLD 周波数は入力の FLD 周波数と一致します。
031	OUT REF	<u>0000</u> 0001 0002 0003	AUTO INPUT HD REF SD REF	ビデオ出力のリファレンスを選択します。 0 : REF 端子に入力された REF 信号 (HD/SD) を自動判別してリファレンスになります。 REF 端子に入力が無いときは、HD シリアル入力信号がリファレンスになります。 REF 入力信号も HD シリアル入力信号も無いときは、内部同期信号がリファレンスになります。 1 : HD シリアル入力信号がリファレンスになります。 その信号がなければ内部基準となります。 2 : HD REF 入力信号がリファレンスになります。 その信号がなければ内部基準となります。 3 : SD REF 入力信号がリファレンスになります。 その信号がなければ内部基準となります。 <ノート> この項目の設定を行っても、メニュー No.600 VIDEO IN SEL で "1394" を選択したときは、E-E 時の出力映像や記録時の出力映像が垂直方向に乱れることがあります。テープに記録される映像には、問題がありません。
032*	REC REF*	<u>0000</u> 0001	NORMAL SLTC	記録する映像のフレームを同期させるリファレンスを選択します。 0 : 入力されている映像信号のフレームを自動判別してリファレンスにします。 1 : HD SDI IN 端子に入力されているタイムコードからフレームを判別してリファレンスにします。 <ノート> SLTC を選択した場合、この項目の設定を有効にするには、下記の設定が必要になります。 ●メニュー No.25 SYSTEM FREQ : 59/60 ●メニュー No.020 SYS FORMAT : 720p ●メニュー No.600 VIDEO IN SEL : HDSDI

* AJ-YA120AG (別売品) を装着時、表示されます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

テープ再生時のフォーマットについて

本機で再生するテープのフォーマットは、メニューNo.020 SYS FORMAT、No.022 PB FORMAT、No.023 FORMAT SEL の組み合わせにより、下表のように変わります。

022. PB FORMAT	020. SYS FORMAT	023. FORMAT SEL	再生フォーマット
MANUAL	1080i	HD-LP	DVCPRO HD-LP (1080i)
		HD-SP	DVCPRO HD (1080i)
		50M	DVCPRO50 (422)
		25M	DVCPRO (411)
		50Mp	DVCPROP (420p)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
	720p	HD-LP	DVCPRO HD-LP (720p)
		HD-SP	DVCPRO HD (720p)
		50M	DVCPRO50 (422)
		25M	DVCPRO (411)
		50Mp	DVCPROP (420p)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
AUTO	メニューNo.022 PB FORMATが「AUTO」に設定されている場合、フォーマット未検出時（テープ挿入時）のフォーマットはメニューNo.023 FORMAT SELに従います。 ただし、「DV」「DVCAM」が選択されている場合は、「HD-LP」が選択されているものとして動作します。		DVCPRO HD-LP (1080i/720p) / DVCPRO HD (1080i/720p) / DVCPRO50(422)/ DVCPRO(411)/DVCPROP(420p)/ DV/DVCAMより自動検出

<ノート>

- EJECT時はメニューNo.020 SYS FORMATで選択されたフォーマットになります。
- DVCPRO P再生時は480iにダウンコンして出力します。

セットアップメニュー

OPERATION

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X8.4 X16 X32	9ピンリモート端子に接続された外部コントローラーを使用するときの、シャトルモードの最高速度を設定します。 0 : 8.4 倍速 1 : 16 倍速 2 : 32 倍速 <ノート> HD SPモードでは、最大 25 倍速に自動的にリミットされます。
102	FF.REW MAX	0000 0001 0002	X16 X32 X50	FF、REW 動作の最大速度を設定します。 0 : 16 倍速 1 : 32 倍速 2 : 50 倍速 <ノート> ● HD SPモードでは、最大 25 倍速に自動的にリミットされます。 ● DV/DVCAMモードでは、最大 32 倍速に自動的にリミットされます。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF VIDEOが接続されていないときの警告表示を設定します。 1 : 警告表示しません。 2 : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
106	EJECT EE SEL	0000 0001 0002	EE BLACK GRAY	EJECT時の映像や音声の出力状態を設定します。 0 : TAPE/EEスイッチの位置に関係なく、常にE-Eモード(Electric modulation to Electric play back)で出力します。 1 : TAPE/EEスイッチの位置により、出力状態が変わります。 EE : E-Eモードで出力します。 TAPE : 映像系はBLACK出力、音声系はミュート出力になります。 2 : TAPE/EEスイッチの位置により、出力状態が変わります。 EE : E-Eモードで出力します。 TAPE : 映像系はGRAY出力、音声系はミュート出力になります。 <ノート> AJ-YA120AG(別売品)やAJ-YAD120AG(別売品)が装着されていないときのEE画はBLACKになります。
107	EE MODE SEL	0000 0001	NORMAL THRU	EEモード時の出力信号を選択します。 0 : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 1 : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 <ノート> THRU設定時は、スーパーは表示されません。
108	PLAY DELAY	0000 : 0015	0 : 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
109	CAP LOCK	0000 0001 0002	2F 4F 8F	再生フレーミングのロックを何フィールド単位で行うかを選択します。 0 : 2F 1 : 4F 2 : 8F <ノート> ● メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときのみ、8Fが選択できます。 ● HD LPやHD SPモードでは、メニューに関係なく、つなぎ撮りを含む記録*、再生時ともに2Fモードが選ばれます。
110	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検知したときに、テープ始端まで自動的に巻き戻す動作を設定します。 0 : テープを巻き戻しません。 1 : テープを始端まで巻き戻します。

* AJ-YA120AG(別売品)やAJ-YAD120AG(別売品)を装着時、可能になります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

OPERATION

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
112	FRZ MODE SEL	0000 0001	DIS STBOFF	再生画像から STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行したときの映像出力を設定します。 0 : 映像出力をミュートします。 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) 時、その時点での再生映像をフリーズして出力します。
114	REC INH LAMP	0000 0001	LIGHT FLASH	カセットが誤消去防止状態になっているときの、REC INHIBIT LAMP の動作を設定します。 0 : ランプが点灯します。 1 : ランプが点滅します。 <ノート> フロントパネルの REC INHIBIT スイッチが ON に設定されている場合は、本設定に関係なく REC INHIBIT ランプは常に点灯します。
115	EJECT SW INH	0000 0001	REC OFF	フロントパネルの EJECT ボタン操作の制限を設定する。 0 : 記録モード中は禁止します。 1 : 全ての動作モードにおいて操作が可能にします。
118	SP MODE INH	0000 0001	OFF ON	DVCPRO HD-LP 以外のフォーマットで記録されたテープに対して、記録の禁止/許可を選択します。 0 : カセットテープへの記録を可能にします。 1 : カセットテープへの記録を禁止します。
150	SEARCH SPEED	0000 0001	X4.1 X8.4	サーチスチル、早送り再生、早戻し再生の速度を設定します。 0 : 4.1 倍速 1 : 8.4 倍速
152	HUMID OPE	0000 0001	OFF ON	結露時の動作を設定します。 0 : 結露時は動作をしません。 1 : 結露時にも動作できるが、正常な動作は保証できません。 <ノート> テープダメージ等が発生する可能性がありますので、通常は「0 : 動作をしない」を設定してください。
154	AUTO BACK	0000 0001 0002	OFF REC-P ALL	つなぎ撮り機能の操作方法を設定します。 (記録映像を乱れなくつなぐためにテープを数秒巻き戻す「AUTO BACK 機能」の動作を設定します。) 0 : AUTO BACK しません。 1 : REC PAUSE 時に AUTO BACK し、記録待機状態で停止します。(PAUSE が解除されるとテープを助走し、記録を開始します。) 2 : 設定 0001 「REC-P」の機能に加えて、REC PLAY 時には AUTO BACK し、すぐにテープを助走して、記録を開始します。
160	MEMORY MODE	0000 0001 0002 0003	OFF M-STOP REPT1 CONT	リピート再生モードを設定します。 0 : リピート再生しません。(通常動作) 1 : FF や REW 動作をしたときに、BEGIN 点付近で停止します。 2 : END 点に達すると BEGIN 点まで REW して停止します。 3 : END 点に達すると BEGIN 点まで REW し、再生することを繰り返します。
161	CTL BGN (または) TC BGN			リピート再生モードの BEGIN 点を設定します。 COUNTER ボタンでカウンター表示モードを、TC と CTL のいずれかに設定します。 未設定のときは --:--:--:-- となり、テープの始端が BEGIN 点になります。
162	END			リピート再生モードの END 点を設定します。 COUNTER ボタンでカウンター表示モードを、TC と CTL のいずれかに設定します。 未設定のときは --:--:--:-- となり、テープの終端が END 点になります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

OPERATION

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
163	REPT MODE	0000 0001 0002	FREEZE BLACK SW	<p>リピート再生モードでBEGIN点に戻るときの出力映像を設定します。</p> <p>0：END点での再生映像をフリーズしたままBEGIN点に戻ります。</p> <p>1：BLACK画のままBEGIN点に戻ります。</p> <p>2：TAPE/EEスイッチの設定に従いBEGIN点に戻ります。</p> <p><ノート></p> <p>「0：FREEZE」にした場合、END点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲でEND点を設定してください。</p>
180	BATTERY SEL	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	NiCd12 NiCd13 NiCd14 S-LION I-LION TYPE-A TYPE-B	<p>バッテリーの種類を設定します。</p> <p>0：12V系バッテリー</p> <p>1：13V系バッテリー</p> <p>2：14V系バッテリー</p> <p>3：リチウムイオンバッテリー“BP-L90A”用の設定です。</p> <p>4：リチウムイオンバッテリー“ENDURA80”用の設定です。</p> <p>5：メニューNo. 181 TYPE-A NEAR項目とNo. 182 TYPE-A END項目で設定したバッテリー</p> <p>6：メニューNo. 183 TYPE-B NEAR項目とNo. 184 TYPE-B END項目で設定したバッテリー</p>
181	TYPE-A NEAR	0000 : 0044	10.6 : 15.0	<p>メニューNo. 180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します。(0.1Vステップ)</p> <p><ノート></p> <p>この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでも、カウンター表示が点滅することがあります。</p>
182	TYPE-A END	0000 : 0034	10.6 : 14.0	<p>メニューNo. 180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します。(0.1Vステップ)</p>
183	TYPE-B NEAR	0000 : 0044	10.6 : 15.0	<p>メニューNo. 180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します。(0.1Vステップ)</p> <p><ノート></p> <p>この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでも、カウンター表示が点滅することがあります。</p>
184	TYPE-B END	0000 : 0034	10.6 : 14.0	<p>メニューNo. 180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します。(0.1Vステップ)</p>

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

INTERFACE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
202	ID SEL	0000 0001 0002	OTHER DVCPRO ORIG	<p>コントローラーに返信するID情報を設定します。</p> <p>0 : DVCPRO以外のVTRのID情報を設定します。</p> <p>1 : DVCPROのID情報を設定します。</p> <p>2 : パナソニック製のコントローラー(AJ-A900など、別売品)との接続時のみ設定してください。</p> <p><ノート> メニューNo.25 SYSTEM FREQで23/24や25 (HD) また、25 (SD) を選択している場合、1 (DVCPRO) または、2 (ORIG) を設定してください。</p>

TAPE PROTECT

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	0.5S 5S 10S 20S 30S 40S 50S 1min 2min	<p>STOPやSTILLの状態では放置されたときの、テープ保護モードになるまでの時間を設定します。</p> <p>(単位 S : 秒、min : 分)</p> <p><ノート> DV/DVCAMテープを使用している時は3 (20s) 以上を選択しても、10秒になります。</p>
401	SRC PROTECT	0000 0001	STEP HALF	<p>STILL状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。</p> <p>0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING)</p> <p><ノート> STEP FWDが設定されているときに、STILLの状態では放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にSTANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。</p>
402	DRUM STDBY	0000 0001	OFF ON	<p>STANDBY OFF (HALF LOADING) 時のドラム動作を設定します。</p> <p>0 : ドラムの回転を停止します。 1 : ドラムの回転を継続します。</p>
403	STOP PROTECT	0000 0001	STEP HALF	<p>STOP状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。</p> <p>0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING)</p> <p><ノート> STEP FWDが設定されているときに、STILLの状態では放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にSTANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。</p>

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

TIME CODE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	メニューNo.501 VITC POS-1 とNo.502 VITC POS-2 で設定された位置に VITC 信号を出力する設定をします。 0 : 出力しません。 1 : 出力します。 <ノート> 本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
501	VITC POS-1	0000 : 0006 : 0010	10L : 16L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ● メニューNo.502 VITC POS-2 と同じラインは設定できません。 ● メニューNo.25 SYSTEM FREQ で 50i/25P を選択している場合、設定範囲は 7L ~ 11L ~ 22L になります。 ● 本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
502	VITC POS-2	0000 : 0008 : 0010	10L : 18L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 <ノート> ● メニューNo.501 VITC POS-1 と同じラインは設定できません。 ● メニューNo.25 SYSTEM FREQ で 50i/25P を選択している場合、設定範囲は 7L ~ 13L ~ 22L になります。 ● 本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
503	TCG MODE	0000 0001 0002	REGEN PRE AUTO	内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。 0 : タイムコードリーダがテープから読み込んだタイムコードにします。 1 : 操作パネルまたはリモートコントローラでプリセットが可能になります。 2 : 動作モードにより REGEN/PRE が自動で切り替わります。 つなぎ撮り時：REGEN が選択されます。 上記以外：PRE が選択されます。
504	RUN MODE	0000 0001	REC FREE	内蔵タイムコードジェネレータが歩進する動作モードを設定します。 0 : 記録中のみ歩進します。 1 : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進します。
505	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG (タイムコードジェネレータ) がリジエネモードのときに、リジエネする信号を設定します。 0 : タイムコード、ユーザーズビット共にリジエネします。 1 : タイムコードのみをリジエネします。 2 : ユーザーズビットのみをリジエネします。
507	TC SOURCE	0000 0001 0002 0003	INT EXT L SLTC SVITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。 0 : 内蔵のタイムコードジェネレータを使用します。 1 : TIME CODE IN 端子の LTC を使用します。 2 : HD SDI IN に入力されたシリアル信号に付加されている LTC 情報を使用します。 3 : HD SDI IN に入力されたシリアル信号に付加されている VITC 情報を使用します。 <ノート> ● 本設定で INT 以外を選択したときは、記録時に出力される LTC と VITC のユーザーズビット値は、タイムコード値に対して 1 フレーム遅れて出力される場合があります。 ● メニューNo.600 VIDEO IN SEL で "1394" を選択して本設定で INT 以外を選択したときは、DV 端子に入力されるタイムコードを使用します。 このとき、E-E モードのときと記録時は、ビデオ信号出力に VITC 情報を重畳しません。また、HD シリアル出力には、LTC 情報と VITC 情報を重畳しません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

TIME CODE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
508	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザビットの使用状況を設定します。 0：キャラクタセットを指定しない 1：ISO646、ISO2022に準拠した8ビットキャラクタセット 2：未定義 3：未定義 4：未定義 5：ページ/ライン 6：未定義 7：未定義
509	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	再生時におけるLTC出力の位相補正コントロールを設定します。 0：位相補正コントロールを行いません。 1：位相補正コントロールを行います。
510	TCG CF FLAG	0000 0001	OFF ON	TCGのCFフラグをONにするかどうかを選択します。 0：CFフラグをOFFにします。 1：CFフラグをONにします。
511	DF MODE	0000 0001	DF NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFモードを設定します。 0：ドロップフレームモードを使用します。 1：ノンドロップフレームモードを使用します。
512	TC OUT REF	0000 0001	VOUT TC_IN	メニューNo.507 TC SOURCEが「INT」以外に設定されているときに、外部TC入力に対してTC OUT端子から出力されるタイムコードの位相を合わせる信号を設定します。(EEモード時のみ) 0：出力映像信号に合わせます。 1：外部タイムコード入力信号に合わせます。
513	VITC OUT	0000 0001	SBC VAUX	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0：再生モード時、SBC領域に記録されているタイムコードを出力します。 1：再生モード時、VAUX領域に記録されているタイムコードを出力します。 <ノート> ●HDシリアル入力により検出されたVITC情報は映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録します。 ●メニューNo.25 SYSTEM FREQで23/24や25(HD)また、25(SD)を選択してこの項目でVAUXを選択したときは、出力されるタイムコードが連続しない場合があります。
514	HD EMBD VITC	0000 0001	OFF ON	HDシリアル出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 0：VITCは重畳しません。 1：VITCを重畳します。
515	HD EMBD LTC	0000 0001	OFF ON	HDシリアル出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 0：LTCは重畳しません。 1：LTCを重畳します。
530	TC PRESET			内部TCGのタイムコード値を設定します。 00000000～23595929 メニューNo.25 SYSTEM FREQで50i/25Pを選択しているとき、選択範囲は00000000～23595924
531	UB PRESET			内部TCGのユーザビット値を設定します。 00000000～FFFFFFFF

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

VIDEO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	VIDEO IN SEL	0000 0001 0002	INTSG HDSDI 1394	<p>入力する映像信号を選択します。</p> <p>0 : VIDEO INT SG 項目で選択された内蔵信号を発生します。 1 : HD SDI IN 端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。 2 : DV 端子に入力された圧縮デジタル信号を選択します。このとき、オーディオ入力信号も DV 端子（デジタルビデオインターフェース）からの信号になります。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> テープを再生しているときは、この項目を変更することができません。 この項目で 1394 を選択したときは、メニュー No.630 1080i→HD_OUT が "1080i" の設定になり、No.632 720p→HD_OUT が "720p" の設定になります。
601	VIDEO INT SG	0000 0001 0002 0003 0004 0005	100%CB 75%CB SMPTE BLACK PLL EQ	<p>内蔵信号の種類を選択します。</p> <p>0 : 100%カラーバーを選択します。 1 : 75%カラーバーを選択します。 2 : SMPTE カラーバーを選択します。 3 : ブラックを選択します。 4 : PLL を選択します。（工場出荷時の調整用信号です。） 5 : EQ を選択します。（工場出荷時の調整用信号です。）</p>
602	SDI IN MODE	0000 0001	DR OFF DR ON	<p>シリアル入力の処理方法を選択します。</p> <p>0 : 下位 2 ビットを四捨五入した上位 8 ビットを記録します。 1 : ダイナミックラウンディングをかけた上位 8 ビット信号を記録します。</p>
603	V-MUTE SEL	0000 0001 0002 0003	N MUTE GRAY BLACK NOISE	<p>再生中にテープのブランク（空白）部分が検出されたときに、映像出力信号をミュートする設定を行います。</p> <p>0 : 映像出力信号をミュートしません。（フリーズする） 1 : 映像出力信号映像をミュートして、GRAY にします。 2 : 映像出力信号映像をミュートして、BLACK にします。 3 : 映像出力信号映像をミュートして、NOISE にします。</p>
604	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	<p>静止画面のフリーズ状態およびスロー再生の状態を選択します。</p> <p>0 : フィールドフリーズ、フィールドスロー 1 : フレームフリーズ、フレームスロー</p>
615	V OUT SEL	0000 0001	CMPNT CMPST	<p>VIDEO OUT1 出力端子の信号を選択します。</p> <p>0 : HD コンポーネント信号を出力します。 1 : コンポジット信号を出力します。</p>
616	OUT MATRIX	0000 0001	YPbPr RGB	<p>HD コンポーネント出力端子の信号を選択します。</p> <p>0 : YPbPr 信号を出力します。 1 : RGB 信号を出力します。</p>
619	V_FILTER	0000 0001	FLD FRM	<p>ダウンコンバート時に、垂直フィルターで行う映像の処理方法を選択します。</p> <p>0 : フィールド単位で処理します。 1 : フレーム単位で処理します。</p> <p><ノート></p> <p>この項目で「FRM」を選択した場合、解像度はよくなりますが、映像にちらつきが目立つことがあります。</p>
620	DOWNCON MODE	0000 0001 0002	CROP LT-BOX SQUEEZ	<p>ダウンコンバート時の画額を設定します。</p> <p>0 : サイドカットモード 1 : レターボックスモード 2 : スクウィーズモード</p>
621	UPCON V MODE	0000 0001 0002	S-PANL CROP STRTCH	<p>アップコンバート時の画額を選択します。</p> <p>0 : サイドパネルモード 1 : 垂直方向の上部と下部のカット 2 : ストレッチモード</p>
626	D/C ENH H	0000 0001	0dB +1dB	<p>ダウンコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。</p> <p>0 : 0dB 1 : +1dB</p>
627	D/C ENH V	0000 0001	0dB +1dB	<p>ダウンコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。</p> <p>0 : 0dB 1 : +1dB</p>

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

VIDEO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
628	U/C ENH H	0000 0001	0dB +1dB	アップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0 : 0dB 1 : +1dB
629	U/C ENH V	0000 0001	0dB +1dB	アップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0 : 0dB 1 : +1dB
630	1080i→HD_OUT	0000 0001	1080i 720p	1080i テープ再生時、または 1080i の EE モード時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0 : 1080i 1 : 720p <ノート> ●記録中や記録の一時停止状態のときは、この項目を変更することができません。 ●この項目で 720p を選択したときは、DV 端子から信号を出力しません。 このとき、メニュー No.600 VIDEO IN SEL で "1394" が選択されているときは、VIDEO IN SEL の設定が "HDSDI" になります。
632	720p→HD_OUT	0000 0001	1080i 720p	720p テープ再生時、または 720p の EE モード時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0 : 1080i 1 : 720p <ノート> ●記録中や記録の一時停止状態のときは、この項目を変更することができません。 ●この項目で 1080i を選択したときは、DV 端子から信号を出力しません。 このとき、メニュー No.600 VIDEO IN SEL で "1394" が選択されているときは、VIDEO IN SEL の設定が "HDSDI" になります。
634	480p→HD_OUT	0000 0001	1080i 720p	480p テープ (DVCPR050P) 再生時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0 : 1080i 1 : 720p
636	480i→HD_OUT	0000 0001	1080i 720p	480i テープ (DVCPR050/DVCPR0/DV/DVCAM) 再生時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0 : 1080i 1 : 720p
676	BLK CLIP	0000 0001	OFF ON	VIDEO OUT と SD OUT の Y (輝度) 信号に対し、ペダスタル以下の信号をクリップする機能です。 0 : クリップしません。 1 : クリップします。
680	CC (F1) BLANK *DW	0000 0001	BLANK THRU	第 1 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
681	CC (F2) BLANK *DW	0000 0001	BLANK THRU	第 2 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
684	EDH (SD) *DW	0000 0001	OFF ON	SD SDI 出力に EDH の重畳を設定します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
685	ESR MODE (SD) *DW	0000 0001	OFF AUTO	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション (ESR) の動作モードを選択します。 0 : 強制的に OFF します。 1 : VTR 動作に応じて自動的に ON/OFF されます。

<ノート>

*DW は、SD 出力時 (SD テープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

VIDEO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
686	CCR MODE (SD) *DW	0000 0001	OFF AUTO	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0：そのまま出力します。 1：クロスカラーを軽減することができます。
687	SDI INDEX 0 *DW	0000 0001	OFF ON	VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力に重畳するかどうかを選択します。 0：VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力信号に重畳しません。 1：VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力信号に重畳します。
689	COMP MODE	0000 0001	NORMAL DARK	記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。 0：通常の圧縮処理で記録します。 1：約 10 IRE (70 mV) 以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。 <ノート> ● 本設定は、720p モードで記録する場合に有効になります。 ● この項目で「DARK」を選択しても、本機の電源を OFF にすると「NORMAL」に戻ります。また、ユーザーデフォルトの設定も「NORMAL」に戻ります。

<ノート>

*DW は、SD 出力時 (SD テープ再生またはダウンコン出力時)

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	AUDIO IN SEL	0000 0001 0002	INTSG ANA SDI	オーディオ信号の入力を設定します。(全チャンネル同時) 0：内蔵信号を発生します。 1：アナログ信号入力に固定します。 2：SDI 信号入力に固定します。 <ノート> ● アナログ信号入力時の各入力チャンネルは、テープ上の下記の音声トラックに記録されます。 CH1 入力 → CH1 と CH5 トラック CH2 入力 → CH2 と CH6 トラック CH3 入力 → CH3 と CH7 トラック CH4 入力 → CH4 と CH8 トラック ● メニュー No.600 VIDEO IN SEL で「1394」を選択した場合は、オーディオ入力信号も DV 端子 (デジタルビデオインターフェース) からの信号になります。
701	CH1 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB -20dB -60dB	アナログオーディオ入力 (CH1) の基準レベルを設定します。
702	CH2 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB -20dB -60dB	アナログオーディオ入力 (CH2) の基準レベルを設定します。
703	CH3 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB -20dB -60dB	アナログオーディオ入力 (CH3) の基準レベルを設定します。
704	CH4 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB -20dB -60dB	アナログオーディオ入力 (CH4) の基準レベルを設定します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB -20dB	アナログオーディオ出力 (CH1) の基準レベルを設定します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB -20dB	アナログオーディオ出力 (CH2) の基準レベルを設定します。
708	CH3/L OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB -20dB	アナログオーディオ出力 (CH3) の基準レベルを設定します。
709	CH4/R OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB -20dB	アナログオーディオ出力 (CH4) の基準レベルを設定します。
730	REC CUE	0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011 0012 0013	CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH1+2 CH3+4 CH5+6 CH7+8 CH1~8	CUEトラックに記録する入力信号を設定します。 1 : オーディオ入力 CH1 2 : オーディオ入力 CH2 3 : オーディオ入力 CH3 4 : オーディオ入力 CH4 5 : オーディオ入力 CH5 6 : オーディオ入力 CH6 7 : オーディオ入力 CH7 8 : オーディオ入力 CH8 9 : オーディオ入力 CH1 と CH2 のミックス信号 10 : オーディオ入力 CH3 と CH4 のミックス信号 11 : オーディオ入力 CH5 と CH6 のミックス信号 12 : オーディオ入力 CH7 と CH8 のミックス信号 13 : オーディオ入力 CH1 から CH8 全てのミックス信号
731	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時における、音声編集点 (IN 点、OUT 点) やつなぎ撮り点の処理を設定します。 0 : 記録時の状態に従います。 1 : 強制的にカット処理を行います。 2 : 強制的にフェード処理を行います。
732	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	HD SDI 出力と SD SDI 出力にオーディオデータの重畳を設定します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
759	DV PB ATT	0000 0001	OFF ON	DV フォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0 : オーディオ出力レベルを減衰しません。 1 : オーディオ出力レベルを減衰します。
760	REC PT MUTE	0000 0001	OFF ON	DV/DVCAM フォーマット再生時、記録のつなぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。 1 : ミュートします。
762	AUD RATE CON	0000 0001	OFF ON	デジタルオーディオ出力部のレートコンバータを通さずに (デジタルフィルターをかけない) 再生を行うことができます。 0 : レートコンバータを通さずに再生します。 1 : レートコンバータを通して再生します。 <ノート> ● 60Hz モード以外では、このメニューの設定にかかわらずレートコンバータを通しません。 ● CH1 ~ CH8 が同時に ON/OFF 制御されます。各 CH ごとの設定はできません。
765	CUE OUT SEL	0000 0001	OFF ON	オーディオ出力 (本線系) への、アナログ CUE 信号出力を設定します。 0 : アナログ CUE 信号を出力しません。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、無音声となります。 1 : アナログ CUE 信号を出力します。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、アナログ CUE 信号を出力します。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
769	MONI SEL	0000 0001	PLY PCM PLY CUE	PLAY時のモニター出力音声を設定します。 0 : PCM 音声を出力します。 1 : CUE 音声を出力します。
770	MONITOR MIX	0000 0001	STEREO CH1+2	オーディオモニター出力の音声を設定します。 (フロントパネルのオーディオモニター切り替えスイッチが「ST」の位置のときに機能します。) 0 : STEREO 出力します。 1 : MIX 出力します。(L/R 端子共に MIX 音声)
771	H.PHONE MIX	0000 0001	STEREO CH1+2	ヘッドホン出力の音声を設定します。 (フロントパネルのオーディオモニター切り替えスイッチが「ST」の位置のときに機能します。) 0 : STEREO 出力します。 1 : MIX 出力します。(モノラルイヤホン使用時)
780	AUD OUT SEL	0000 0001 0002	LINE CH1/2 CH3/4	アナログオーディオ出力端子の出力音声を設定します。 0 : 全ての出力端子を本線系出力として使用します。 CH1 端子=CH1 音声 CH2 端子=CH2 音声 CH3 端子=CH3 音声 CH4 端子=CH4 音声 1 : CH1 と CH2 の出力端子を本線系出力として使用し、CH3 と CH4 の出力端子をモニター出力端子として使用します。 CH1 端子=CH1 音声 CH2 端子=CH2 音声 CH3 端子=モニターL (CH1、CH2、CH1+CH2) 音声 CH4 端子=モニターR (CH1、CH2、CH1+CH2) 音声 2 : CH1 と CH2 の出力端子を本線系出力として使用し、CH3 と CH4 の出力端子をモニター出力端子として使用します。 CH1 端子=CH3 音声 CH2 端子=CH4 音声 CH3 端子=モニターL (CH3、CH4、CH3+CH4) 音声 CH4 端子=モニターR (CH3、CH4、CH3+CH4) 音声
781	IN IMP SEL	0000 0001	600 HIGH	アナログオーディオ入力のインピーダンスを設定します。 0 : 600 Ω 1 : High インピーダンス <ノート> 本設定に関係なく、メニューNo.701～704 CH1～4 IN LVで-60dBを設定したときは3kΩに設定されます。

MENU

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A02	P.ON LOAD	0000 0001	OFF ON	電源を入れたときに、セットアップメニューの設定内容を、ユーザーの初期設定値に変更する設定を行います。 0 : 変更しません。 1 : 変更します。

は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

DIF (AJ-YAD120AG を装着したときに表示されます。)

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
880	DIF SPEED	0000 0001 <u>0002</u>	S100 S200 <u>S400</u>	デジタルビデオインターフェース出力の転送速度の設定。 0 : 100Mbps 1 : 200Mbps 2 : 400Mbps <ノート> この項目で S100 を選択したときは、DVCPRO HD フォーマット信号の入出力を行うことができません。
882	DIF IN CH	0000 : 0063 <u>0064</u>	0 : 63 <u>AUTO</u>	入力チャンネルの設定。 0 ~ 63 : 指定値で固定。 64 : 指定値で固定しない。 電源が ON の時、入力チャンネルは 63 に初期化されます。
883	DIF OUT CH	0000 : 0063 <u>0064</u>	0 : 63 <u>AUTO</u>	出力チャンネルの設定。 0 ~ 63 : 指定値で固定。 64 : 指定値で固定しない。 電源が ON の時、出力チャンネルは 63 に初期化されます。
886	DIF CONFIG	<u>0000</u> 0001 : 0255	<u>DFLT</u> 1 : 255	拡張用のメニュー。 通常は DFLT でご使用ください。
890	DIF AUD OUT	<u>0000</u> 0001	<u>CH1/2</u> CH3/4	DVCPRO HD テープや 50M フォーマットのテープを再生して、デジタルビデオインターフェースから DV フォーマットで出力するときに出力する音声チャンネルの設定。 0 : CH1 と CH2 1 : CH3 と CH4
891	DIF DV AUDIO	<u>0000</u> 0001 0002	<u>THRU</u> LOCK LOCK48	DV テープを再生し、DV フォーマットで出力する場合の強制オーディオモード変換の設定。 0 : 通常 (スルー)。 1 : 強制的に LOCK モードに変換する。(周波数の変換はしない。) 2 : 強制的に 48kHz/2CH/LOCK に変換する。
894	HD→DIF OUT	<u>0000</u> 0001 0002	<u>HD</u> 50M DV	DVCPRO HD テープを再生したときや、E-E モード (AJ-YA120AG 装着時) のときに、デジタルビデオインターフェースから出力する信号フォーマットの設定。 0 : DVCPRO HD 1 : DVCPRO50 2 : DV
895	50M→DIF OUT	<u>0000</u> 0001	<u>50M</u> DV	50M フォーマットのテープを再生したときに、デジタルビデオインターフェースから出力する信号フォーマットの設定。 0 : DVCPRO50 1 : DV <ノート> この項目で DV を選択したときは、垂直ブランキング期間のタイムコード (VITC) 信号とクローズドキャプション信号は伝送されますが、垂直ブランキング期間に含まれる他の信号は、伝送されません。
896	25M→DIF OUT	<u>0000</u> 0001	<u>25M</u> DV	25M フォーマットのテープを再生したときに、デジタルビデオインターフェースから出力する信号フォーマットの設定。 0 : DVCPRO 1 : DV
899	DIF SUPER	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	フォーマット変換 (HD→50M、HD→DV、50M→DV) 時に、デジタルビデオインターフェースから出力するスーパー表示を設定。 0 : スーパーを表示しない。 1 : スーパーを表示する。

<ノート>

出力する信号フォーマットを DVCPRO HD 以外に設定して DV 端子に外部機器を接続する場合は、下記のように設定することをお勧めします。

- メニュー No.022 PB FORMAT : MANUAL
- メニュー No.023 FORMAT SEL : 本機に挿入されているテープのフォーマット

_____ は、工場出荷モードです。

エラーメッセージ

装置に異常が発生した場合には、フロントパネルのカウンター表示部とモニターのスーパー表示に下記のエラーメッセージが表示されます。

スーパー表示では、カウンター値の表示部分にエラー番号が表示されます。

また、メニュー No.006 DISPLAY SEL で「T&S&M」が選択されている場合、スーパー表示のモード表示部にエラーメッセージが表示されます。

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
- d -	<p>DEW 結露を検出した場合、エラー番号が点滅してEJECTモードへ移行します。EJECTモードではテープがEJECTされ、テープ操作ができません。テープをEJECTしたあと、結露を除去するためにドラムが回転します。結露が解除されるとエラー表示が消え、VTRが使用可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EJECTモード時に結露が検出されると、その時点でドラムが回転します。 ・カセット挿入時に結露が検出されると、ドラムの回転を止め、テープをEJECT後にドラムが回転します。 <p>結露が解除されるまで、電源を入れた状態でお待ちください。ただしメニューNo.152 HUMID OPEが「ON」のときは、操作が可能です。フロントパネルのカウンター表示部には、カウンター値と「- d -」を交互に表示します。</p>
E-00	<p>SERVO NOT LOCKED 再生時や記録時に、サーボが3秒以上外れたとき。</p>
E-01	<p>LOW RF 再生時に、1秒以上ヘッド出力がないとき。(目づまり等)</p>
E-02	<p>HIGH ERROR RATE エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正や補間がかかったとき。</p>
E-09	<p>NO RF 再生時に、テープのブランク部分を1秒以上検出したとき。 下記の条件を全て満たしたときをブランク部分として認識します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのヘッド出力がない。 ・再生データが読みとれない。 ・CTL信号がない。
E-10	<p>FAN STOP ファンモーターが停止したとき。 停止した状態で約5分経過すると、自動的にPOWER OFFになります。</p>
E-93	<p>INVALID TC MODE (23/24Hzモード時) 再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。 VTRの動作は継続します。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。</p>

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
E-94	<p>TC SEQUENCE UNMATCH (23/24 Hz、25 Hzモード時) 再生時、アクティブフレーム情報とタイムコードの関係が正規でない場合に表示されます。映像出力が不均一(滑らかでない動き)になる場合があります。VTRの動作は継続します。 バリアブルフレームレートカメラで収録されたテープにはアクティブフレーム(フレーム映像が切り替わった先頭フレーム)情報が記録されています。本機で再生する場合は、タイムコードの0フレームがアクティブフレーム位置で検出される必要があります。</p>
E-95	<p>INVALID EMBEDDED TC (メニューNo.032 REC REFでSLTCを選択時) 記録する映像のフレームをHD SDI IN端子に入力された信号のタイムコードに同期させるときに、タイムコードが1倍速で歩進していない場合に表示されます。</p>
E-29	<p>FRONT LOAD MOTOR EJECTモードに移行し、6秒経過してもカセットアップしないとき。 <ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。</p>
E-31	<p>LOADING MOTOR アンローディング動作が、6秒以内に完了しないとき。 <ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモードに移行します。</p>
E-35	<p>SERVO CONTROL ERROR サーボマイコンからの応答が1秒以上ないとき。</p>
E-37	<p>SERVO COMM ERROR サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わないとき。</p>
E-38	<p>SERVO FG ERROR 本機の電源を入れたときに、EJECT状態で行うリールとキャプスタンの回転自動調整が正常に行われなかったとき。</p>

エラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容	エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
E-51	FRONT LOAD ERROR ローディング途中（ハーフポジション）の始末端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りしたとき。	E-69	T REEL TORQUE ERR Tリールモーターに、異常トルクがかかっていることを検知したとき。
E-52	W-UP REEL NOT ROTA カセット挿入後、テープ総量未検出状態でのテープ走行中に、巻き取り側リールがテープを巻き取っていないとき。	E-6A	IFマイコンとFRONTマイコン間の通信異常が発生したとき、フロントパネルのカウンター表示部に表示されます。 このとき、スーパーインポーズ表示そのものが消えます。
E-53	WINDUP ERROR テープ総量検出後、テープ走行中に、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なったとき。	E-70	S REEL TORQUE ERR Sリールモーターに、異常トルクがかかっていることを検知したとき。
E-55	UNLOAD ERROR アンローディング時に、テープを巻き取らなかったとき。	E-71	CAP TENSION ERROR キャプスタンモードで、S側テンション異常を検出したとき。
E-57	S-FF/REW TIMEOVER テープの始末端処理動作が終了しないとき。	E-72	REEL TENSION ERROR リールモードで、S側テンション異常を検出したとき。
E-59	DRUM ROTA TOO SLOW シリンダモーターの回転が、異常に遅いとき。	E-73	REEL DIR UNMATCH 巻き取り側のリールモーターが逆転したとき。
E-60	DRUM ROTA TOO FAST シリンダモーターの回転が、異常に早いとき。	E-74	DRUM TORQUE ERROR シリンダモーターに異常なトルクがかかっていることを検出したとき。
E-61	CAP ROTA TOO SLOW キャプスタンモーターの回転が、異常に遅いとき。	E-78	M-IF COMM ERROR メカニズム中継基板とサーボマイコンの通信に異常があったとき。
E-64	S REEL TOO FAST Sリールモーターの回転が、異常に早いとき。	E-bA	BATTERY 入力DC電圧が、アンダーカット電圧以下になったとき。
E-67	T REEL TOO FAST Tリールモーターの回転が、異常に早いとき。		

本体を再起動してもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

エラーメッセージ

AJ-YAD120AG を装着したときに表示されるエラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容	エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
E-04	UNKOWN SIG デジタルビデオインターフェースに入力されている信号が、DVCPRO フォーマット以外と DV フォーマット以外のときに表示されます。 また、AJ-HD1200A を 2 台使って出力側と入力側に設定したときに、2 台のメニュー No. 25 「SYSTEM FREQ」の設定が異なっているときにも表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*1)	E-18	INVALID TC SIG デジタルビデオインターフェースに入力されているタイムコード信号が、正しくないときに表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*3)
		E-90	NOT 1X 100M SIG デジタルビデオインターフェースに入力されている信号が、DVCPRO HD (100 Mbps) フォーマットの 1 倍速転送速度ではないときに表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*1)
E-14	NO MATCH SIG デジタルビデオインターフェースに入力されている信号が、AJ-HD1200A で設定されているシステムフォーマットと異なるときに表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*1)	E-92	1394 INITIAL ERROR デジタルビデオインターフェースの接続状態が不規則な場合に表示されます。インターフェースでの出力はできません。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*4)
E-16	INVALID VIDEO SIG デジタルビデオインターフェースに入力されているビデオ信号が、正しくないときに表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*1)		
E-17	INVALID AUDIO SIG デジタルビデオインターフェースに入力されているオーディオ信号が、正しくないときに表示されます。 AJ-HD1200A の動作 動作を継続 (*2)		

<ノート>

- *1 : エラー表示は、E-E モードのときに常に表示されます。
この場合、映像信号としてブラック信号が記録され、音声信号はミュートされます。
- *2 : エラー表示は、E-E モードのときに常に表示されます。
この場合、音声信号はミュートされます。
- *3 : エラー表示は、E-E モードのときに常に表示されます。
この場合、タイムコード信号として AJ-HD1200A の内部タイムコードジェネレーターのタイムコードが記録されます。
- *4 : エラー表示は、常に表示されます。
この場合、デジタルビデオインターフェースでの出力はできません。

結 露

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴 (露) がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに 10 分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ (---d---) が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

EMERGENCY イジェクト

緊急時に手でテープを取り出す手順

EJECT ボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

- 必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。

- ① トップパネルを外します。
- ② 赤いプラスチックギア (A) を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。このとき、同時にテープを巻き取る機構が動くためラッチ音がありますが、そのまま 10 回程度回します。

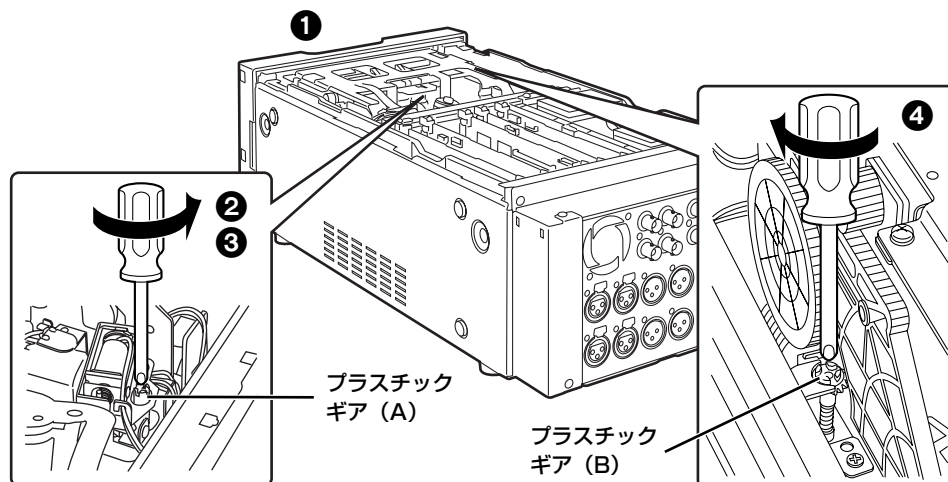
<ノート>

必要以上に回しすぎると、カセットテープに負担がかかり、テープダメージの原因になります。

- ③ 各ポストがアンローディングし、テープが完全にカセットに収納されたことを確認します。
- ④ テープが完全にカセットケースの中に戻ったら、図のようにカセットダウンモーターのウォームギア前方にある赤いプラスチックギア (B) を、押し込みながら時計方向に回しカセットを取り出します。

<ノート>

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。クリーニング液は、当社指定のものをご使用ください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

DVCPRO ビデオヘッド: 1.000 時間
消耗・摩耗部品 : 1.000 時間

■補修用性能部品

当社では、デジタルHDビデオカセットプレーヤー/レコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 摩耗部品とは、

- | | |
|----------|-------------|
| ●ビデオヘッド | ●ローラー類 |
| ●ピンチローラー | ●ヘッド類 |
| ●各種ブレーキ | ●その他メカ駆動系部品 |
| ●モーター | |

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	デジタルHDビデオカセットプレーヤー/レコーダー
品番	AJ-HD1200A
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源：

AC (100-240) V、50 Hz/60 Hz

DC 12 V、6.6 A

消費電力：

69 W (本体のみ)

97 W (AJ-YA120AG、AJ-YAD120AG 装着時)

 は安全項目です。

動作周囲温度

5℃～40℃

動作周囲湿度

10%～80% (結露無し)

質量

7.9kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行)

214 mm × 132 mm × 428 mm

記録フォーマット*1、*2

DVCPRO HD-LP

記録ビデオ信号*1、*2

1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz、

1080i/50Hz 切り替え

記録オーディオ信号*1

48kHz、16bit、8ch

記録トラック*1

- デジタル ビデオ/オーディオ：
ヘリカルトラック
- タイムコード：
ヘリカルトラック (サブコード領域)
- キュー信号：
1トラック
- コントロール (CTL) 信号：
1トラック

再生フォーマット

DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/

DVCPRO P/DVCPRO/DV-SP/DVCAM

テープスピード

67.64 mm/秒 (59.94Hz モード)

67.70 mm/秒 (60Hz/50Hz モード)

記録時間

64分 (AJ-HP64ELG 使用時)

使用テープ

メタルテープ

FF/REW 時間

約 90 秒 (AJ-HP64ELG 使用時)

【ビデオ】

■ デジタルビデオ

サンプリング周波数

Y：74.25 MHz

P_B/P_R：37.125 MHz

量子化

8bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100Mbps

■ ビデオ入力端子*1

HD シリアルデジタル入力

BNC × 1 (SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)

リファレンス入力

ブラックバースト/HD 3 値 SYNC 自動切り替え

BNC × 2 (ループスルー × 1)、
75 Ω 終端 ON/OFF 切り替え

■ ビデオ出力端子

HD シリアルデジタル出力*1

BNC × 2 (SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)
(スーパー ON/OFF)

SD シリアルデジタル出力*1

BNC × 1 (SMPTE259M-C/272M-A、ITU-R BT.656-4 規格に準拠) (スーパー ON/OFF)

アナログコンポジット出力

BNC × 2、
VIDEO 1*3、VIDEO 2 (スーパー ON/OFF)

HD アナログコンポーネント出力

BNC × 3*3 (Y/P_B/P_R、R/G/B 切り替え)
(スーパー ON/OFF)

*1 AJ-YA120AG (別売品) を搭載時のみ機能します。

*2 AJ-YAD120AG (別売品) を搭載時のみ機能します。

*3 VIDEO1 と HD アナログコンポーネント Y 出力は切り替えです。

定 格

■ ビデオ出力調整範囲

HD シリアルデジタル出力システム位相*1

1080i : ±0.5 H (13.5 ns ステップ)

59/60 Hz : ±1100 Sample

50 Hz : ±1320 Sample

23/24 Hz : ±1375 Sample

720p : ±0.5 H (13.5 ns ステップ)

59/60 Hz : ±825 Sample

SD シリアルデジタル/コンポジットビデオ出力

システム位相*1

±0.5 H (37 ns ステップ)

59 Hz : ±858 Sample

50 Hz : ±864 Sample

コンポジットビデオ出力 SC 位相

±180 度以上

【オーディオ】

■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48kHz (ビデオに同期)

量子化

16bit

周波数特性

20Hz ~ 20kHz ±1dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

85dB 以上

(1kHz、エンファシス OFF)

歪率

0.1% 以下

(1kHz、エンファシス OFF、基準レベル)

クロストーク

-80dB 以下 (1kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター

測定可能値以下

ヘッドルーム

20dB

■ オーディオ入力端子*1

アナログ入力 (CH1/CH2/CH3/CH4)

XLR × 4、600 Ω/High インピーダンス切り

替え可能 (デフォルト : 600 Ω)

+4/0/-20dBm/-60dBu 切り替え可能

(-60dBu 時は、インピーダンスが 3 kΩ)

HD シリアルデジタル入力

BNC × 1、75 Ω、

SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠

■ オーディオ出力端子

アナログ出力 (CH1/CH2/CH3/CH4)

XLR × 4、Low インピーダンス、

+4/0/-20dBm (600 Ω 負荷時) 切り替え可能

CH3/CH4 出力はモニター出力 L/R 切り替え可能

HD シリアルデジタル出力*1

BNC × 2、75 Ω

(SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)

SD シリアルデジタル出力*1

BNC × 1、75 Ω (SMPTE259M-C/272M-A/ITU-R BT.656-4 規格に準拠)

モニター出力 (L/R)

PHONO × 2、600 Ω、-8dBv

ヘッドホン出力

ステレオ (6 mm 径)、8 Ω、レベル可変

【その他の入出力端子】

タイムコード入力*1

BNC × 1、0.5 ~ 8V [p-p]、10 kΩ

タイムコード出力

BNC × 1、Low インピーダンス、

2.0 ± 0.5V [p-p] (600 Ω 負荷時)

RS-422A 入力

D-sub 9pin、AJ-A95 用

RS-422A インターフェース

DC 電源出力

4pin × 1、DC 12V、250mA、AJ-A95 用

DV 入出力端子*2

コネクタ : 6ピンタイプ

伝送速度 : 400 Mbps、200 Mbps、

100 Mbps 選択可能

伝送データ :

IEEE 1394 — 1995 準拠

IEC 61883 — Part1、Part2 準拠

制御コマンド :

AV/C Command Set 準拠

【オプション】

HD SDI 入出力 SD SDI 出力ボード

AJ-YA120AG

デジタルビデオ入出力ボード

AJ-YAD120AG

*1 AJ-YA120AG (別売品) を搭載時のみ機能します。

*2 AJ-YAD120AG (別売品) を搭載時のみ機能します。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

